

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年月日	施 主	分 類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考					
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波			
青森 001	青森県 三沢市 四川目	震嘯災記念	地震海鳴りほら津浪	維持昭和八年三月三日午前二時三十分四十八秒、突如として強震あり。爾後半刻にして洋上遙か大音響を聞き、閃光の発するを見るや間髪を容れざるに海嘯の襲う所となる。怒濤天空を摩し、くだけて地上を洗う。一瞬多数の生命を奪い、財産を拉す。阿鼻叫喚の声随所に充ち、その惨状言語に絶す事天聴に達し、かしくも救恤の資を賜う。皇恩無窮感激に堪えず、聖旨を奉戴して官民一致の間に如し、汝々としてこれが復興に努め、その方途を誤らず。全国の同情また翕然として集まり、もって罹災民をして能くその全きを得しめたるを喜ぶ。被害地住民は永くこの災禍を追想し、宜しくこれが警戒と予防に努むるの要有らん。ここに東京朝日新聞社募集の義援金をもってするこの記念碑建設に当り、青森県知事多久安信は標語を記し、もって深く銘戒せしむ。	昭和津波	教訓型	○	○					昭和 8.11.11	—	—	金比羅神社		○			線上	線上	8m	高330cm幅98cm厚98cm			
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
青森 002	青森県 三沢市 三川目	三陸大海嘯記念	【津波襲来状況、被害の記載】	—	昭和津波	教訓型	○						—	三澤村長等	市町村	三川目公民館			○			線外	線外	12m	高89cm幅92cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
青森 003	青森県 三沢市 三川目	震嘯災記念	【青森001と同文】	【青森001と同文】	昭和津波	教訓型	○	○					昭和 8.11.11	—	—	三川目公民館			○			線外	線外	12m	高330cm幅98cm厚98cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
青森 004	青森県 おいらせ町 松原	震嘯災記念	【青森001と同文】	【青森001と同文】	昭和津波	教訓型	○	○					昭和 8.11.11	—	—	明神山公園			○			線上	線外	8m	高330cm幅98cm厚98cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
青森 005	青森県 八戸市 大字湊町字館鼻	震嘯災記念	【青森001と同文】	【青森001と同文】	昭和津波	教訓型	○	○					昭和 8.11.11	—	—	館鼻公園			○			線上	線外	22m	高330cm幅98cm厚98cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
青森 006	青森県 階上町 大字道仏字大蛇	海嘯記念碑	—	(上段)昭和八年三月三日午前二時三十分強震あり。約四十分を経て大海嘯襲来し、家屋納屋漁船漁具魚粕等、或いは倒壊、或いは流失、死者負傷者多数を出ずに至れり。その惨状と損害たるや言筆に尽くし難し。顧みるに明治二十九年六月十五日三陸大海嘯の際も甚大なる損害ありしが、今年更に大なる損害を被れり。住民たるもの深く銘記して、将来の対策を構ぜざるべからず。すなわち、これを永遠に記念せんがために、村民相計りて、ここにこの碑を建てたり。然してこの報天聴に達するや長くも御救恤金を賜わり、勅使御差遣わせらる等、皇恩の大なるに村民一同感激感泣せり。全国の同情もまた多大にして、義援金食料品慰問物等、続々来たり。殊に陸海軍部においては率先して被服寝具類を急贈し、県並びに国においても直ちに応急対策を施し、村を指導して一日も早く復旧せんことを図れり。その後、着々復旧の途に就くを得たるは、主としてこの広大なる恩義によるものと言わざるべからず。村民は子々孫々に伝えて海嘯の難を恐れるとともに、この高恩を永代に忘るべからず。今碑を建つるに当り、ためにその梗概を誌す。 (下段)【地震と津波による被害、義援の金品の記載】	昭和津波	教訓型	○							昭和 8.7.31	階上村	市町村	大蛇小学校			○			線上	線上	10m	高242cm幅98cm厚14cm	
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
青森 007	青森県 階上町 大字道仏字楯	震嘯災記念	【青森001と同文】	【青森001と同文】	昭和津波	教訓型	○	○					昭和 8.11.11	—	—	—			○			線外	線内	7m	高330cm幅98cm厚98cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
青森 008	青森県 階上町 大字道仏字小舟渡	海嘯死者之碑	—	【死亡者名の記載】	不明	慰霊型	○						—	—	—	小舟渡小学校裏海岸			○			線外	線内	10m	高132cm幅79cm厚9cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 001	岩手県 洋野町 種市(川尻)	不慮の津浪に不断の注意	—	この碑は、東京朝日新聞社読者から寄託された義援金で同社が各町村に分配した残余をもって建設したものである。【川尻での死亡者名の記載】	昭和津波	教訓型	○	○					昭和9.12	種市村	市町村	川尻水門付近			○			線上	線外	7m	高146cm幅62cm厚13cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 002	岩手県 洋野町 種市(宿戸)	大海嘯罹災者招魂碑	—	—	明治津波	慰霊型							明治 29.10	岡本松太郎	個人	共同墓地			○			線外	線外	12m	高62cm幅28cm厚17cm		
	<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考				
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					対象津波	3.11津波	沿道	社寺				公益	他		
岩手 003 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 洋野町 種市(宿戸) <a href="#">対象マップ</a>	地震に気を緊め 津浪に避難	-	この碑は、東京朝日新聞社読者から寄託された義援金で同社が各町村に分配した残余をもって建設したものである。【大浜での被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○	○				昭和9.12	-	-	旧浜街道脇	○					線外	線外	12m	高123cm幅92cm厚29cm		
岩手 004 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 洋野町 種市(八木) <a href="#">対象マップ</a>	二十三回忌	明治二十九年旧五月五日午後八時強震鳴動あり。俄然海嘯襲来せり。その当時、八木部落の戸数は33戸、人口232人あり。流出せし戸数27戸、流出を免れたるは僅かに六尺、また流出人員123、生存せし者109名。海嘯は八木川字上河原鐵糞畑地に達し、多数の家屋船の破片は漂着したり。今後もし強震鳴動あるか、井水海水不時に差引するが如き異状ある場合は、油断なく高所に避難せられんことを生存者古老の実話を聞き、後年の注意まで、ここに記録す。【死亡者の戒名、寄付金の記載】	昭和八年三月三日午前二時半強震あり。区民皆驚愕して離床警戒せるも、異状無かりしため再び寝に就きしに、午前三時五分、俄然大海嘯襲来、掘込畑まで浸水、多数の人命を損じたり。今八木区の被害を調査せるに、漁舟33隻、発動機船6隻、死傷64名、流水家屋40戸、その他倉庫耕地等の損害甚大を極めたり。よって今後強震に際しては、必ず津浪の襲来を予想して警戒の要するを後世の人士に告ぐ。明治二十九年旧五月五日午後八時の大海嘯は、強震と同時に襲来せり。今後強震ありたる時は、必ず高所に避難すべし【死亡者名の記載】	明治・昭和津波	教訓型	○					大正7.5.5	八木区同志	個人	共同墓地				○			線上	線外	10m	高160cm幅58cm厚10cm	
岩手 005 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 洋野町 種市(八木) <a href="#">対象マップ</a>	想へ惨禍の三月三日	-	この碑は、東京朝日新聞社読者から寄託された義援金で同社が各町村に分配した残余をもって建設したものである。【八木での被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○					昭和9.12	-	-	小公園				○			線上	線内	5m	高253cm幅122cm厚29cm	
岩手 006 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 洋野町 小子内 <a href="#">対象マップ</a>	頌徳碑	【漢文】	地震長きは津浪と思へ 【津波襲来時間と被害数の記載】	明治・昭和津波	教訓型		○				昭和11.10.3.3	川崎富蔵等	個人	旧浜街道脇	○						線外	線外	8m	高154cm幅78cm厚18cm	海岸から鉄道ガード脇へ移動
岩手 007 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 洋野町 小子内 <a href="#">対象マップ</a>	式陸津浪記念碑	一、地震があつたら津浪の用心 一、津浪が来たなら高い所へ 一、あぶない所に家を建てるな	昭和八年三月三日午前二時三十分強震があり。続いて三時津浪に襲われた。これがため、本村では死者6名、家屋の流失倒壊6戸を出し、漁船漁具その他の被害もまた甚大であった。碑は東京朝日新聞社読者から寄託された義援金を同社が各町村に分配した残余をもって建設したものである。	昭和津波	教訓型	○	○	○	○		昭和9.3.3	-	-	旧浜街道脇	○					線外	線外	8m	高244cm幅106cm厚17cm	高台から鉄道ガード脇へ移動	
岩手 008 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 久慈市 侍浜町麦生 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年津浪記念碑	大津浪ぐぐりてめげぬ雄心持ていざ追い進みまい上らまし 英彦	【侍浜村の被害の記載】	昭和津波	祈念型	○					昭和9.3.3	侍浜村	市町村	麦生農村センター				○			線外	線外	90m	高90cm幅85cm厚24cm	
岩手 009 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 久慈市 侍浜町白前 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年津浪記念碑	大津浪ぐぐりてめげぬ雄心持ていざ追い進みまい上らまし 英彦	【侍浜村の被害の記載】	昭和津波	祈念型	○					昭和9.3.3	侍浜村	市町村	(県)侍浜夏井線脇	○						線外	線外	94m	高100cm幅90cm厚25cm	
岩手 010 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 久慈市 夏井町 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯記念碑	時維昭和八年三月三日午前二時四十八分、偶々震天駭地強震あり。にわかには人心恟々として、明治二十九年大海嘯を想起、右顧左顧中、同中、海中遙かに方、雷の振動とともに殆んど避はかなくもなく、海嘯襲来たり。たちまちにして海岸一帯の漁舎漁具流失して、その隻影を止めず。その状、酸鼻を極めたり。損害また甚大なり。言えどもこれも往年の三陸大海嘯のそれに比せしが、家屋納屋等倒潰流失数なお算するも、人家流失1、溺死者1名に止まる。これ被災中の幸事というべし。災後において、全国的の同情を蒙り、就中東京朝日新聞社その他関係要路特志者の厚き同情により、莫大なる義援金品の贈与に預り、各種の救済を全うし、今や復興甦生の第一歩を踏出しを得たるは、これひとえに各位の賜物と本村は感激措く能わざるところなり。尚、東京朝日新聞社より岩手県を経て、特に記念碑建設費を寄贈せらる。ここに碑を建て、永くこれを伝えんとす。回顧すれば、明治二十九年六月十五日午後六時四十分の大海嘯は今次の海嘯の十数倍の高浪怒濤の襲うあり。人畜の死傷附近のみにて200余、家屋住宅等の流失全滅したる殆んど400余戸に及び、その惨状、断腸の感あり。記して伝う。	-	昭和津波	教訓型	○					昭和9.1.3	夏井村	市町村	国道395(旧45)号脇	○					線外	線上	7m	高240cm幅130cm厚83cm	土手下	
岩手 011 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 久慈市 湊町 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯溺死者記念碑	-	-	明治津波	慰霊型						-	-	-	長寿庵				○			線上	線外	17m	高275cm幅99cm厚30cm	

「トップページ」及び「津波被害・津波石碑広域マップ」へは最終ページから移動できます。

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考			
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波	
																									○
岩手 012 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 久慈市 湊町	津波記念碑	—	自然界における災害のなかで、津波ほど悲惨なものはない。過去において当市に襲来した記録は十八回に及び、特に明治二十九年、昭和八年は死者総数538人、負傷者267人、家屋流失185戸を数え想起するに慄然たるものがある。市は悲惨なる災害から市民を護るため昭和三十八年防浪堤を構築した。しかしながら、かくの如き津浪犠牲になられた方々の慰霊の碑の無きことを遺憾とせられた兼田忠二郎氏等の発願により慰霊碑を建立することになった。われわれは 殉難者の重を慰めると共に宿命的な惨事を再び繰り返さぬことを祈念してやまないものである。	明治・昭和津波	慰霊型	○					昭和46.5	久慈市	市町村	金刀毘羅神社					○	線外	線外	40m	高122cm幅327cm厚24cm	
岩手 013 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 久慈市 湊町	防潮林記念碑	—	明治二十九年、昭和八年の海嘯惨害の甚大なるに鑑み、時の政府はこれが防止策として防潮林造成の最も経済的かつ効果的なを認め、国庫補助費事業として計画を樹立せり。しかしながら当部落は耕地少かつ住家多く、用地の承諾を得るに困難なりしも、県当局は勿論、町並びに部落有志者の援助の基に専ら高井技手接洽の重ね、いよいよ昭和十二年十月設計金16,000余円をもって事業に着手し、面積3町余里、黒松23,000本栽植、翌年三月竣工せり。ここに概略を記し、後世に遺さんとす。【工事関係者等の氏名の記載】	明治・昭和津波	祈念型	○					昭和13.4.14	久慈町	市町村	金刀毘羅神社					○	線外	線外	40m	高105cm幅60cm厚16cm	
岩手 014 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 久慈市 湊町	昭和八年津浪記念碑	大津浪くぐりてめげぬ雄心持ていざ追い進みまい上らまし 英彦	維時昭和八年三月三日暁二時半、俄然激震起り。海嘯轟然前の海嘯に体験せる部落民海嘯襲来なるを直視し、避難するを得たり。直に救援出動隊敵島艦慰問の来港を見る。明治二十九年の三陸大海嘯に比し人畜の被害僅少なれど、船舶粉碎、納屋流失の被害また少からず。今被害の対照を下に記す。被害の趣、長くも天聴達するや御内帑金を賜わり、親しく大金侍従を御差遣あらせられ、三月十日湊小学校において優渥なる誓旨の御伝達を賜う。集う部落民惶懼感泣す。ほか宮家よりの御慰問金あり。もって大國旗に替え、毎年三月三日二掲揚し、永く記念するものなり。	昭和津波	祈念型	○					昭和9.10.17	—	—	金刀毘羅神社					○	線外	線外	40m	高155cm幅65cm厚15cm	
岩手 015 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 久慈市 長内町	昭和八年津浪記念碑	大津浪くぐりてめげぬ雄心持ていざ追い進みまい上らまし 英彦	噫昭和八年三月三日午前二時半、俄然激浪とともに津浪の襲来に遇い、全漁村の被害甚大にして溺死者10名、負傷者5名、損害額12万円。畏くも叡聞に達し、本村の邊陲にまで侍従を御派遣、慰恤あらせらる。誠に感銘に堪えず、また全国の同情また欽然として集るに、また村民奮励努力以て災後の復興を誓う。	昭和津波	祈念型	○					昭和11.3.3	長内村	市町村	国道45号脇、諏訪神社入口					○	線外	線外	35m	高215cm幅103cm厚29cm	
岩手 016 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 久慈市 宇部町(小袖)	昭和八年津浪記念碑	大津浪くぐりてめげぬ雄心持ていざ追い進みまい上らまし 英彦	維持昭和八年三月三日旧二月八日午前三時四十八分、突如強震あり。洋上遠く爆音を聞きしよりわずかに半刻の後、天を摩する怒濤、閃光を帯びて陸岸を襲い、一時にて幾多の生霊を奪い、財をさらう。その惨状言語に絶す。天聴に達し長くも勅使を差遣わされ、救恤の資をヲ賜う。天恩洪大まことに感に堪えず。我が県、官民協力一致して克く、その救護に仕し、孜々として復興にかの全国朝野の同情また翕然として集まり、もって罹災民の飢寒を救い、奮容を復するを得たり。津浪は往古より周期的に襲来す、と聞く。被害地住民は永くこの災禍を追憶し、宜しく向後を警戒するの覚悟あるを要す。ために東京朝日新聞社寄贈の義援金をもってこの碑を建設し、永くこれを記念し、かつ将来の鑑戒しなす所以なり。【宇部町の被害数の記載】強い地震は津浪の報せ	昭和津波	祈念型	○	○				昭和9.3.3	宇部村	市町村	大向宅裏					○	線外	線外	15m	高203cm幅97cm厚22cm	
岩手 017 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 久慈市 宇部町(久喜)	昭和八年津浪記念碑	【岩手016と同文】	【岩手016と同文】	昭和津波	祈念型	○	○				昭和9.3.3	宇部村	市町村	漁協久喜支所前					○	線上	線上	12m	高205cm幅92cm厚26cm	
岩手 018 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 野田村 大字野田	津浪記念碑	—	【津浪の襲来時刻・波高と被害の記載】	昭和津波	教訓型	○					昭和9.8.31	—	—	綿津海神社					○	線上	線内	10m	高272cm幅105cm厚29cm	
岩手 019 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 普代村 (普代)	大海嘯記念	一、大地震の後には津波が来る 一、地震があったら高い所へ集る 一、津波に追はれたら何処でもここらいの高い所へ 一、遠くへ逃げては津波に追つかれる近くの高い所を用意しておけ 一、県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな	昭和八年三月三日午前二時三十分上下に動揺する強震あり。続いて三時頃より大音響とともに大海嘯の襲来あり。三時十分頃最も被害あり。普代村の流失戸数78戸、溺死者135名、負傷者81名。本碑は東京朝日新聞社読者より寄託せられたる義援金を同社において罹災者町村に分配せし残金を重ねて分配せられ、その金員をもって建設せしものなり。	昭和津波	教訓型	○	○	○	○		昭和8.8	普代村	市町村	畠山宅裏山					○	線外	線外	10m	高245cm幅120cm厚19cm	
岩手 020 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 普代村 (普代)	三陸大海嘯溺死者・諸霊供養塔	【普代村の被害の記載】	本供養塔は全国各地より寄託せられたる義援金の内より、特に海嘯溺死者慰施設費として指定し、県より配当せられたる義援金の内をもって建設せしものなり。	昭和津波	慰霊型	○					昭和8.8	普代村	市町村	妙相寺					○	線外	線外	10m	高220cm幅100cm厚20cm	

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建 立 場 所				浸水線との関係		標高	大きさ	備 考			
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談				沿道	社寺	公益	他	対象津波	3.11津波						
																								○	○	○
岩手 021	岩手県 普代村 (普代)	津波防災之碑	-	(イ)明治29年6月15日(陰暦5月5日)に発生した津波はわが国史上に於ける最大級の津波であった。本村の被害は死亡行方不明者1,010人、流失倒壊家屋 258戸、船舶の流失破損等被害甚大であった(岩手県土木課取組めの災害土木誌参照)。(ロ)昭和8年3月3日午前2時30分頃、釜石市の東方約140kmの地点で発生した大地震により約40分後襲来した津波による被害は言語に絶するものであった。本村の死亡行方不明者137人(中央気象台発行津波報告による)、家屋の流失倒壊は201戸(三陸津波被害復興計画報告書による)、その他船舶の流失破損被害甚大(昭和59年5月8日普代水門竣工を記念し建之)。	明治・昭和津波	祈念型	○					昭和59.5.8	-	-	(主)岩泉平井賀普代線脇	○					線内	線内	11m	高150cm幅181cm厚125cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 022	岩手県 普代村 (太田名部)	津浪記念塔	一、大地震の後は津波が来る 一、地震があったら高い所へ集まれ 一、津波に追はれたらどこでもここくらい高い所へ一、遠くへ逃げては津波に追つかれる近くの高い所に用意しておけ 一、県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな	明治二十九年丙申年旧五月五日午後八時、大津波襲来。普代村の被害流失、家屋78戸、死者343名、負傷158名。昭和八年三月三日午前二時三十分上下に動揺する強震あり。続いて三時頃より大音響と共に大津波の襲来あり。三時十分頃最も被害あり。普代村の流失戸数78戸、死者135名、負傷者81名。	明治・昭和津波	教訓型	○	○	○	○		昭和55.8	大田名部々落	集落	ポンプ小屋横				○			線外	線外	10m	高190cm幅88cm厚16cm	公民館脇から現地へ移動
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 023	岩手県 普代村 (太田名部)	-	【坂下家の犠牲者名の記載】	-	明治津波	慰霊型						-	坂下氏	個人	共同墓地				○			線外	線外	20m	高178cm幅81cm厚26cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 024	岩手県 普代村 (太田名部)	-	【太田家の犠牲者名の記載】	【東北三県の被害の記載】	明治津波	慰霊型	○					-	太田氏	個人	共同墓地				○			線外	線外	20m	-	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 025	岩手県 田野畑村 羅賀	大海嘯溺死者招魂碑	【羅賀の被害の記載】	-	明治津波	慰霊型	○					-	-	-	(主)岩泉平井賀普代線脇	○						線外	線外	20m	高170cm幅80cm厚27cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 026	岩手県 田野畑村 羅賀(平井賀)	昭和八年津浪記念碑	大津浪ぐりてめげぬ雄心持て、いざ追い進みまい上らまし 英彦	昭和八年三月三日午前二時三十八分上下に動揺する強震あり。続いて三時頃より大音響とともに津浪の襲来あり。波浪の高さ約3mより8m。本村の流失戸数123戸、倒壊4戸、溺死者103名。この記念碑は東京朝日新聞社愛読者より寄託の義援金を同社が罹災町村へ分配せし残余重ねて分配せられたるをもって建設せしものなり。	昭和津波	祈念型	○					昭和9.3	田野畑村	市町村	(主)岩泉平井賀普代線脇	○						線外	線外	20m	高230cm幅95cm厚17cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 027	岩手県 田野畑村 島越	すべて	一、チシンガシタラバユダンヲスルナ 一、チシンガアツタラタカイトコロニアツマレ 一、ツナミノオハレタラタカイトコロニアガレ 一、チカクノタカイトコロヨウイシテオケ 一、オカミノサダメタヤシキチヨリヒクイトコロニアヲタテルナ	【建立年月日、施主の記載】	昭和津波	教訓型		○	○	○		昭和15	2名連名	個人	広福寺				○			線外	線外	35m	高100cm幅50cm厚12cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 028	岩手県 田野畑村 島越	三陸海嘯横死者招魂碑	-	【東北三県と田野畑村の被害の記載】	明治津波	慰霊型	○					明治31.8	-	-	広福寺				○			線外	線外	35m	高210cm幅70cm厚25cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 029	岩手県 田野畑村 島越	昭和八年津浪記念碑	【岩手026と同文】	【岩手026と同文】	昭和津波	祈念型	○					昭和9.3	田野畑村	市町村	広福寺				○			線外	線外	35m	高235cm幅70cm厚16cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 030	岩手県 岩泉町 小本	海嘯溺死者供養塔	-	-	明治津波	慰霊型						-	小本村漁師中	団体	宗得寺				○			線外	線内	10m	高190cm幅113cm厚20cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 031	岩手県 岩泉町 小本	三陸大海嘯溺死者慰霊塔	【小本村の被害の記載】	本慰霊塔は全国各地の篤志者より寄託せられたる義援金の内より、特に海嘯溺死者の弔慰施設費として県より指定配分せられたる金員と小本浜漁業組合よりの寄附金をもって建設せしものなり。	昭和津波	慰霊型	○					昭和9.3	小本村漁業組合	団体	宗得寺				○			線外	線内	10m	高239cm幅93cm厚18cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									
岩手 032	岩手県 岩泉町 小本	三陸大海嘯記念	一、大地震の後は津波が来る 一、地震があったら高い所へ集まれ 一、津波に追われたら何処でもこのくらい高い所へ逃げる 一、常に近くの高い所を用意しておけ 一、県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな	昭和八年三月三日午前二時三十分上下に動揺する強震あり。続いて三時十分頃より大音響とともに大津浪の襲来あり。最高波浪小本25尺、茂師40尺余、本村の流失戸数93戸、溺死者156名、負傷者32名、損害見積額542,000余円。この記念碑は東京朝日新聞社読者より寄託の義援金を同社において罹災各町村へ配分せる残余を本建設費として寄附せられたる金員をもって建設したるものなり。	昭和津波	教訓型	○	○	○	○		昭和9.3	小本村	市町村	小本小学校				○			線外	線外	10m	高275cm幅120cm厚18cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																									

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建 立 場 所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考				
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					対象津波										
																3.11津波	線外	線外	線外							
岩手 033 <b>カルテ</b>	岩手県 岩泉町 小本(茂師) <b>対象マップ</b>	三陸大海嘯記念	一、大地震の後には津波が来る 一、地震があったら高い所へ集まれ 一、津波に追われたら何処でもこのくらいの高い所へ逃げろ 一、常に近くの高い所を用意しておけ	【岩手032と同文】	昭和津波	教訓型	○	○	○				昭和9.3	小本村	市町村	国道45号脇	○					線外	線外	30m	高230cm幅100cm厚16cm	同じ国道脇の漁港よりに移動
岩手 034	岩手県 宮古市 田老	梵海嘯死者供養		【摂待部落の死者数の記載】	明治津波	慰霊型	○						明治29.8	畠山長之助	個人	-						-	-	-	高90cm幅40cm厚25cm	摂待
岩手 035	岩手県 宮古市 田老	三陸海嘯拾三回忌		【東北三県と下摂待部落の被害の記載】	明治津波	慰霊型	○						明治41.3	-	-	-						-	-	-	高80cm幅40cm厚35cm	摂待
岩手 036	岩手県 宮古市 田老	-		【不詳】	昭和津波	慰霊型							-	森山千代松	個人	-						-	-	-	高45cm幅37cm厚15cm	水沢墓地内
岩手 037	岩手県 宮古市 田老	海嘯横死者之碑		【不詳】	明治津波	慰霊型							-	-	-	-						-	-	-	高120cm幅50cm厚34cm	共同墓地
岩手 038	岩手県 宮古市 田老	-		【不詳】	明治津波	慰霊型							-	加藤六郎	個人	-						-	-	-	高90cm幅40cm厚18cm	共同墓地
岩手 039	岩手県 宮古市 田老	弔海嘯死者碑		【不詳】	昭和津波	慰霊型							-	同級生	個人	-						-	-	-	高120cm幅64cm厚23cm	常運寺
岩手 040	岩手県 宮古市 田老	明治二九年海嘯之碑		【不詳】	明治津波	慰霊型							-	鳥居家	個人	-						-	-	-	高140cm幅62cm厚34cm	常運寺
岩手 041	岩手県 宮古市 田老	海嘯供養塔		【不詳】	昭和津波	慰霊型							-	坂本氏、鈴木氏	個人	-						-	-	-	高170cm幅94cm厚39cm	常運寺
岩手 042	岩手県 宮古市 田老	三陸大海嘯溺死慰霊塔		【不詳】	昭和津波	慰霊型							昭和9.3	-	-	-						-	-	-	高209cm幅84cm厚19cm	常運寺
岩手 043	岩手県 宮古市 田老	海嘯死者碑		-	明治津波	慰霊型							-	-	-	-						-	-	-	高235cm幅130cm厚58cm	常運寺
岩手 044	岩手県 宮古市 田老	-		【不詳】	昭和津波	慰霊型							昭和57.6	-	-	-						-	-	-	高263cm幅37cm厚28cm	常運寺
岩手 045	岩手県 宮古市 田老	大海嘯記念	大地震の後には津浪が来る、地震があったらここへ来て一時間我慢せ、津浪に襲われたら何処でもこのくらいの高所へ逃げろ、遠くへ逃げては津浪に追付かれる、常に近くの高い所を用意しておけ	【被害の記載】	昭和津波	教訓型	○	○	○				昭和9.3	-	-	-						-	-	-	高277cm幅130cm厚16cm	田老小学校前
岩手 046	岩手県 宮古市 田老	大海嘯記念碑		-	明治津波	慰霊型							-	当村中	集落	-						-	-	-	高93cm幅48cm厚23cm	椋内
岩手 047	岩手県 宮古市 田老	南無阿弥陀仏		【不詳】	明治津波	慰霊型							-	-	-	-						-	-	-	高63cm幅34cm厚28cm	椋内
岩手 048	岩手県 宮古市 田代(佐羽根) <b>対象マップ</b>	海嘯遭難横死供養		-	明治津波	慰霊型							-	2名連名	個人	-						-	-	-	高74cm幅31cm厚18cm	
岩手 049	岩手県 宮古市 崎山(女遊戸) <b>対象マップ</b>	海嘯記念	明治二十九年旧五月五日大海嘯のため本部落21戸中流失19戸、溺死者63名ありて、未曾有の惨状を極めたり。本年は恰も二十三周年に当たるをもって部落民協同建立。	-	明治津波	慰霊型	○						大正7.旧5.5	女遊戸一同	集落	-						-	-	-	高165cm幅80cm厚45cm	
岩手 050	岩手県 宮古市 鎌ヶ崎(日出島) <b>対象マップ</b>	海嘯溺死者供養塔		-	明治津波	慰霊型							-	佐々木福次郎	個人	-						-	-	-	高67cm幅50cm厚27cm	
岩手 051	岩手県 宮古市 鎌ヶ崎(日出島) <b>対象マップ</b>	牛馬供養塔		-	明治津波	慰霊型							-	前川福蔵	個人	-						-	-	-	高58cm幅33cm厚30cm	
岩手 052	岩手県 宮古市 鎌ヶ崎(大沢)	海嘯記念碑	大地震の後には津浪が来る、地震があったらここへ集れ	【被害の記載】	昭和津波	教訓型		○	○				昭和8.12	崎山村	市町村	-						-	-	-	-	
岩手 053	岩手県 宮古市 蛸の浜町 <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	明治二十九年六月十五日陰暦端午に当るこの日、朝より陰鬱なりしが、黄昏地揺ること二回、やがて海上遙かに轟然たる響を聞くや数丈の怒濤、俄然打寄せ来たること三回、その二次最激甚、たちまちにして阿鼻叫喚、修羅の巷は至る所に現せられ、すなわち北陸奥の泊より南陸前志津川に至る海岸ごとく皆々の害を被り、死者三万、流屋無数。我が鎌ヶ崎町は死者128人、流失277戸、船舶276艘を失う。まことに悲惨の極というべし。この時あたかも当町小学校に幻燈会あり、児童及びその父兄等参集したために、海嘯の難を免れし者多かりしは不幸中の幸というべし。ああ天地地妖の測り知るべからざる。まことに恐るべく、また警むべし。今ここに13年忌に当り罹災者を弔し、碑を建てて後に伝う。	-	明治津波	教訓型	○						明治41.11	鎌ヶ崎町有志者	個人	-						-	-	-	高230cm幅123cm厚65cm	心公院
岩手 054	岩手県 宮古市 蛸の浜町 <b>対象マップ</b>	祀海嘯供養塔		-	昭和津波	慰霊型							昭和10.旧2.8	-	-	-						-	-	-	高150cm幅75cm厚20cm	
岩手 055	岩手県 宮古市 蛸の浜町	津浪襲来記録標		【不詳】	昭和津波	教訓型							昭和12.6	鎌ヶ崎青年団	団体	-						-	-	-	高67cm幅165cm厚13cm	心公院
岩手 056	岩手県 宮古市 蛸の浜町	津浪襲来記録標	波高6m、強震後二三十分にして打寄せせる海嘯三十年に一度の割に襲うなれど、この自然の防浪堤、日和山よくふせぐ。吾等が里の守り。	-	昭和津波	教訓型							昭和12.6	鎌ヶ崎青年団	団体	-						-	-	-	高75cm幅16cm厚16cm	心公院

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建 立 場 所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考							
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					対象津波	3.11津波	沿道	社寺				公益	他					
岩手 057 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 日立浜町	大海嘯記念	一、大地震の後は津浪が来る 一、大地震があったら高い所へ集まれ 一、津浪に追われたら何処でも高い所へ 一、遠くへ逃げては津浪に追いつかれる、常に逃げ場を用意しておけ 一、家を建てるなら津浪の来ぬ安全地帯へ	昭和八年三月三日午前二時三十分頃より大地震あり。続いて三時頃大音響とともに大津浪襲来し、三時十分頃最も波浪高し。宮古地内は幸にして被害少く流失戸数4戸、溺死者2名なり。本碑は東京朝日新聞社読者より寄託に係る義援金を重ねて分配せられたる金員をもって建設したるものなり。	昭和津波	教訓型	○	○	○	○			昭和9.3	宮古町	市町村	浄土ヶ浜屏風岩の下					○	線外	線内	0m	高316cm幅133cm厚23cm				
岩手 058 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 日立浜町	1960年5月24日チリ地震津波記念碑	地震がなくとも潮汐が異常に退いたら津波が来るから早く高い所に避難せよ	—	チリ津波	教訓型		○	○				—	宮古ロータリークラブ	団体	浄土ヶ浜屏風岩の下					○	線外	線内	0m	高181cm幅314cm厚26cm				
岩手 059 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 本町	宮古開港記念碑	閉伊郡沿海有宮古山田大槌釜石之諸港而湾形蜿蜒水波 静穩船舶之出入共容易而西風浪之患少者以宮古為第一 矣此地名一條天皇御宇寛弘元年始著于世文治年間閉伊 頼基占領時代稱波田莊天正之末日黒田谷地其後日黒田 邸以来漸增人煙為一小港之状云是皆雖口碑之所伝而無 文獻之足徵者其品評港澳而為郡内之冠之一事則固無異 論焉耳慶長十六年會海嘯之優來罹部落殆全滅之災時之 領主南部侯聞之頗有所計画而国事多端不能速成焉侯諱 利直南部氏廿七代之主君而大祖諱光行出自甲斐源氏文 治五年以源右府之幕舎承提封宇奥北糠部五郡建久二年 開基三戸以累代之武功鎮制四隣之叛賊治侯之世為十郡 之領主移居城干岩手郡盛岡元和元年海内之兵乱漸德川幕府基礎已固諸侯各以 封内之平安為專務矣侯既平 定封内且以上国之兵役亦就間視權災後之宮古港蹶然 決親臨之一舉及還巡視閉伊郡内通觀目前之形勢按察後 來之效驗遂屬望干宮古港滯留旬集隸屬謀議災後之終 當欲 弘部部落莧聚居民萬躬檢定幹部会郡代小本助兵衛 区画支属之巷阻且製造宮古丸虎丸之二大船新命附屬之 水夫若干繫之干浦口以備臨時之用云爾來戸口之蕃殖漁 業貨物運輸之頻煩逐年進化致今日之好果者可謂侯之豫 望得其美矣蓋雖原因天稟之良港一以侯之遠望深慮與部 民之励精世世不乏其人之故也今茲有志諸人追憶創業之 恩議相謀 開港三百年之記念式勒其由干石建之伝不朽 云乃使豫作其文豫亦而舊縁之在干此地於是乎不敢辭之叙其梗概附以歌頌日水則放新式之舟探究近海遠洋以致 漁 之鍛鍊陸則走新式之車修拓荒途幽逕以興交通利便 小而進郷党之段賑大而輔邦家之富強以僻陬之境為繁華 之郷 嗚呼斯 也何啻表一地方之福兆延以及宇内之海	(左欄の概要)宮古の由来を述べた後、1611年に慶長三陸沖地震津波を被災したことを伝えている。津波を受けた当時は国事多端であったためすぐには対応できなかったが、1615年に至り南部氏は領内を巡視した後、郡の代官に小本助兵衛を任命し、復興を行わせたことが刻印されている。	その他	祈念型	○						大正4.9	—	—	—											高360cm幅160cm厚25cm		
岩手 060 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 沢田	三陸海嘯横死者招魂之塔	—	—	明治津波	慰霊型							明治29.旧12.5	速見辨輔	個人	常安寺												高185cm幅80cm厚50cm	
岩手 061 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 田の神	一本柳の跡	—	—	その他	教訓型	○						平成1.6	山口の有志	個人	(主)宮古岩泉線脇	○											高106cm幅102cm厚64cm	
岩手 062 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 藤原	三陸大海嘯横死精霊	【死亡者名の記載】	—	明治津波	慰霊型	○						昭和29.旧6	藤原若者中	団体	龍音堂扉の直前				○								高130cm幅70cm厚50cm	
岩手 063 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 藤原	海嘯記念碑	【漢文】	—	明治津波	教訓型	○						明治35.5	磯鶏区民一同	集落	国道45号脇	○											高230cm幅90cm厚50cm	
岩手 064 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 藤原	三陸大海嘯記念碑	大地震の後は津浪が来る、地震があったら高い所に逃げる	—	昭和津波	教訓型	○	○	○				昭和9.5	磯鶏村	市町村	国道45号脇	○											高230cm幅90cm厚17cm	
岩手 065 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 金浜	三陸海嘯横死者精霊	—	—	明治津波	慰霊型							—	金浜若者中	団体	—												高100cm幅65cm厚37cm	江山寺
岩手 066 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 金浜	チリ地震津浪記念碑	大地震の後は津波が来る、外国地震でも津波は来る、潮がめだつてひいたら高い所へ	—	チリ津波	教訓型	○	○	○				昭和36.5.24	宮古市	市町村	—												高212cm幅83cm厚16cm	国道45号脇

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考			
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波	
岩手 067 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 赤前 <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	—	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	沿道	○					線内	線上	13m	高260cm幅140cm厚30cm	
岩手 068 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 白浜 <b>対象マップ</b>	海嘯横死者精霊塔	—	—	明治津波	慰霊型						—	当村廿七戸	個人	県道重茂半島線脇	○					線外	線外	28m	高200cm幅80cm厚60cm	
岩手 069 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 重茂(笹沢) <b>対象マップ</b>	三陸海嘯記念碑	—	唱散白雲不着大擲翻滄海超那■却来消息君休問処々身心儘現前【川代、石浜、千鷲、姉吉、元村、音部、荒巻、鶴磯、中組、追切の被害状況の記載】	明治津波	教訓型	○					大正4.3	追切仲組有志	個人	—					—	—	—	高154cm幅70cm厚18cm		
岩手 070 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 重茂(鶴磯) <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	強い地震は津浪の知らせ、その後警戒一時間、忘れるな惨禍の大津波	—	昭和津波	教訓型		○	○			—	荒巻区一同	集落	—					—	—	—	高140cm幅40cm厚20cm		
岩手 071 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 重茂(音部) <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	—	—	明治津波	慰霊型						—	音部区民一同	集落	—					—	—	—	高160cm幅130cm厚35cm		
岩手 072 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 重茂(音部) <b>対象マップ</b>	昭和八年大津浪記念碑	強い地震は津浪の知らせ、その後の警戒一時間、想え惨禍の三月三日、この碑は昭和八年津浪の際、東京朝日新聞社が読者から寄託された義援金を各町村に分配し、その残余を更に建碑費として受け建設するものなり。	—	昭和津波	教訓型		○				—	音部区	集落	—					—	—	—	高130cm幅70cm厚23cm		
岩手 073 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 重茂(音部) <b>対象マップ</b>	馬頭観世音	—	—	明治津波	慰霊型						—	音部区民一同	集落	—					—	—	—	高95cm幅40cm厚30cm		
岩手 074 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 重茂(館) <b>対象マップ</b>	○海嘯供養	—	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	県道重茂半島線脇	○					線外	線外	85m	高116cm幅70cm厚34cm	
岩手 075 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 重茂(里) <b>対象マップ</b>	津浪記念碑	強い地震は津浪の知らせその後の警戒一時間想え惨禍の大津浪【里の被害の記載】	—	昭和津波	教訓型	○	○				—	—	—	県道重茂半島線脇	○					線上	線上	10m	高170cm幅120cm厚45cm	
岩手 076 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 重茂(里) <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	【里の被害の記載】	—	明治津波	慰霊型	○					—	—	—	県道重茂半島線脇	○					線上	線上	10m	高190cm幅120cm厚23cm	
岩手 077 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 重茂(姉吉) <b>対象マップ</b>	大津浪記念碑	(上段)高き住居は児孫の和楽、想え惨禍の大津浪、ここより下に家を建てるな、(下段)明治二十九年にも昭和八年にも津浪はここまで来て、部落は全滅し生存者僅かに前に2人、後に4人のみ。幾歳経るとも要心をせ。	この碑は昭和八年津浪の際、東京朝日新聞社が読者から寄託された義援金を各町村に分配し、その残余を更に建碑費として受け建設せるものなり。	明治・昭和津波	教訓型	○			○		—	—	—	沿道	○					線外	線外	60m	高130cm幅60cm厚33cm	
岩手 078 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 重茂(姉吉) <b>対象マップ</b>	観世音菩薩勸請縁起	【不詳】	—	明治・昭和津波	慰霊型						昭和57.6	瑞雲寺住職、ほか発起人一同	個人	—					—	—	—	高185cm幅75cm厚25cm		
岩手 079 <b>対象マップ</b>	岩手県 宮古市 重茂(千鷲) <b>対象マップ</b>	昭和八年大津浪記念碑	強い地震は津浪の知らせ、その後の警戒一時間、想え惨禍の三月三日	この碑は昭和八年津浪の際、東京朝日新聞社が読者から寄託された義援金を各町村に分配し、その残余を更に建碑費として受け建設せるものなり。	昭和津波	教訓型		○	○			—	—	—	—					—	—	—	高100cm幅55cm厚30cm	市道脇	
岩手 080 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 重茂(千鷲) <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	【被害の記載】	—	明治津波	慰霊型	○					—	—	—	県道重茂半島線脇	○					線上	線上	30m	高190cm幅90cm厚40cm	バス停脇
岩手 081 <b>カルテ</b>	岩手県 宮古市 重茂(千鷲) <b>対象マップ</b>	昭和八年大津浪記念碑	強い地震は津浪の知らせ、その後は警戒一時間、想え惨禍の三月三日	—	昭和津波	教訓型		○	○			—	—	—	県道重茂半島線脇	○					線外	線上	30m	高100cm幅60cm厚40cm	バス停脇

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年月日	施 主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考		
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波
岩手 082	岩手県 宮古市 重茂(石浜) <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	—	—	不明	慰霊型						—	—	—	—					—	—	—	高70cm幅25cm厚25cm	
岩手 083	岩手県 宮古市 重茂(石浜) <b>対象マップ</b>	海嘯横死牛馬観世音	—	—	明治津波	慰霊型						大正13	石村辰之助	個人	—					—	—	—	高115cm幅40cm厚30cm	
岩手 084	岩手県 宮古市 重茂(川代) <b>対象マップ</b>	大海嘯記念	大地震の後は津波が来る、地震があったら高い所へ集まれ、津波のくる前には海水がひける、遠くへ逃げては津波に追付かれる。近くの高い所を用意しておけ、住宅は津波浸水線より高い所へ	この記念碑は東京朝日新聞社へ寄託の義援金を罹災町村へ分配せられ、その金員をもって建設せしものなり。	昭和津波	教訓型		○	○	○		昭和9.3	—	—	—					—	—	—	高190cm幅110cm厚25cm	
岩手 085	岩手県 宮古市 重茂(川代) <b>対象マップ</b>	大津浪記念塔	【津波襲来時刻、溺死者名の記載】	—	明治津波	教訓型	○					—	—	—	—					—	—	—	高140cm幅85cm厚25cm	
岩手 086	岩手県 山田町 大沢	三陸大海嘯記念碑	大地震の後は津波が来る、地震があったら高い所へ集まれ、津波に追われたらどこでもこころの高い所へ、遠くへ逃げては津波に追付かれる、近くの高い所を用意しておけ、県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな【大沢町の被害数の記載】	—	昭和津波	教訓型		○	○	○		昭和9.3	—	—	—					—	—	—	高248cm幅131cm厚21cm	大沢小学校
岩手 087	岩手県 山田町 大沢	海嘯記念碑	—	(右)【大沢の被害の記載】	明治津波	教訓型	○					—	—	—	—					—	—	—	高216cm幅89cm厚54cm	南陽寺参道脇
岩手 088	岩手県 山田町 大沢	三陸大海嘯溺死者慰霊塔	【大沢の被害の記載】	【銘文略】	昭和津波	慰霊型	○					昭和9.3.3	大沢村	市町村	—					—	—	—	高280cm幅94cm厚17cm	南陽寺
岩手 089	岩手県 山田町 後楽町	丙申震嘯之紀	(勅特賜性海慈船禪師永平悟由篆額)陸中沿海之地東抱大洋渺茫不知涯際西負連山蜿蜒突兀真為天劍境域閉伊郡有大邑曰山田町在崎灣基紆回邱陵尤出沒之間明治二十九年丙申六月十五日晴時地震潮連減無幾海上鳴動如遠雷轟轟地驚濤一瀉為邱陵所反激其勢更猛拔■石田宅漂蕩人畜沈溺天時暮加之細雨黯黯不并咫尺有悲鳴号哭之声耳河南一倉庫甚堅牢者僅免漂流衆爭入其中或上其屋既而樹木竹石亦繁焉遂其門戸會在屋上者失火倉灰燼為之爛死者亦五十余人其慘狀概如此矣潮退天明一望荒寥屋舍■無一完存者溺沒者無慮八百余屍々累々不可名狀而父子夫妻大抵無得再會稚子求母老嫗尋孫啼泣悲痛聲震天地蓋此災所及陸前陸與南北數十里死者万余田宅損害不可奉數幸得一生於万死者亦無衣食屋宅僅免陷溺而忽迫飢餓况埋殮死者乎人生悲慘可謂極矣	(左欄の概要)山田町を襲った明治三陸地震津波の概要を述べている。弱い地震の後に潮が引いたと思ったら大波がやって来て、耕地や家屋、人や動物は流され、悲鳴や号泣が鳴り響いた。津波だけでなく火事も起こり、夜が明けると家も無い荒涼な風景が広がり、死者は800人程出た。そのうち、焼死は50人余である。生き残った者も衣服も食料も家も無いため、飢えに苦しんだことが刻印されている。	明治津波	慰霊型	○	○				明治31.2	—	—	—					—	—	—	高260cm幅137cm厚16cm	龍昌寺境内
岩手 090	岩手県 山田町 後楽町	海嘯遭難者慰霊塔	—	—	不明	慰霊型						—	—	—	—					—	—	—	高203cm幅81cm厚—cm	龍昌寺
岩手 091	岩手県 山田町 八幡町	津浪記念	— 大地震の後は津波が来る — 地震があったら高い所へ集れ — 津波に追はれたら何処でもこころの高い所への — 遠くへ逃げては津波に追付かれる、近くの高い所を用意しておけ — 県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな	奮励努力は事業成功の基礎にして、和衷協同は集団福祉の源泉、天皇の下賜金、全国同胞の義援を受け一致協力復興に邁進すべし。	昭和津波	教訓型		○	○	○		昭和10.3.3	—	—	—					—	—	—	高282cm幅126cm厚19cm	八幡宮
岩手 092	岩手県 山田町 船越 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	大海嘯記念	— 大地震の後は津波が来る — 地震があったら高い所へ集れ — 津波に追われたら何処でもこころの高い所への — 遠くへ逃げては津波に追付かれる、近くの高い所を用意しておけ — 県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな	昭和八年三月三日午前二時三十分上下に動揺する強震あり。続いて三時頃より大音響とともに大津浪の襲来あり。浪の高さ10m、三時十分頃最も被害あり。被害戸数船越区、流失23戸、半壊1戸、死者3名、田ノ浜区、流失183戸、半壊2戸、床上浸水11戸、死者2名、大浦区、流失5戸、半壊14戸、床上浸水16戸なり。本碑は東京朝日新聞社へ寄託の義援金二十余万円を罹災町村へ分配したる残金をもって建てたものなり。	昭和津波	教訓型	○	○	○	○		昭和9.5	船越村	市町村	船越駅北	○				線外	線外	20m	高270cm幅128cm厚19cm	
岩手 093	岩手県 山田町 船越大浦	大海嘯記念	【岩手092と同文】	【岩手092と同文】	昭和津波	教訓型	○	○	○	○		昭和9.5	船越村	市町村	—					—	—	—	高270cm幅128cm厚19cm	大浦小学校
岩手 094	岩手県 山田町 船越 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	三陸大海嘯溺死者慰霊塔	【船越村の被害の記載】	本慰霊塔は全国各地の篤志者より寄託せられたる義援金の内より、特に海嘯溺死者の弔慰施設費として指定し、県より配分せられたる義援金をもって建設せるものなり。	昭和津波	慰霊型	○					昭和9.5	船越村	市町村	海蔵寺		○			線外	線内	5m	高244cm幅94cm厚14cm	
岩手 095	岩手県 山田町 船越田の浜 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	大海嘯記念	【岩手092と同文】	【岩手092と同文】	昭和津波	教訓型	○	○	○	○		昭和9.5	船越村	市町村	県道入口	○				線上	線上	10m	高270cm幅128cm厚19cm	
岩手 096	岩手県 山田町 織笠	大海嘯記念	— 大地震の後は津波が来る — 地震があったら高い所へ集まれ — 津波のくる前には海水がひける — 遠くへ逃げては津波に追付かれる、近くの高い所を用意しておけ — 住宅は津波浸水線より高い所へ	【津波襲来時刻の記載】	昭和津波	教訓型		○	○	○		昭和9.3	織笠村	市町村	—					—	—	—	高267cm幅120cm厚19cm	織笠小前



番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所	沿道				浸水線との関係		標高	大きさ	備考								
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他	対象津波	3.11津波											
岩手 097	岩手県 山田町 織笠	大海嘯記念碑	明治廿九年六月十五日自朝冥濛山岳尽韜形及夜地震而以其搖不劇日此日当陰曆五日家家陶醉端午之酒人多不驚無幾海上鳴動忽濁浪起于 前嶺山拔樹倒屋潰尖蕩夷黎元無了遺如此者北陸與白銀濱南至陸前志津川溺死者三万 死屍累々拾取踰月事遂上聞上震悼即派侍從撫恤災民内外志士爭脫衣贈金吊慰莫不至 有司 亦日夜奔走努力于救助災 余之民賴以免流離之難矣戎織笠村潮昂丈余及坊主山下溺死七十二 流屋五十六 船舶五十六 牛馬九 倉庫數十 橋梁二 水田十六町 陸田六町 宅地六町 悉屬流糜嗟人世之無常災災之不可測矣如此豈可不恐而警哉今茲當三週年建石以勒焉	(左欄の概要)織笠村の明治三陸地震津波の被害の様子が伝えられている。当日は朝から小雨で、夜に地震が起こり、端午の節句で酔っている所に濁流が不意に襲ってきた。山も樹木も家屋もことごとく流され、溺死者72、流失した家屋56、船舶56、牛馬9、倉庫数十、橋梁2、水田16町、陸田6町、宅地6町であった。被災後に侍従が来られて、吊慰金が贈られたことが刻印されている。	明治津波	慰霊型						明治31.6	-	-	-					-	-	-	高283cm幅150cm厚30cm	織笠小枝庭脇								
岩手 098	岩手県 大槌町 吉里吉里 カルテ 対象マップ	海嘯溺死精霊塔	-	-	昭和津波	慰霊型						-	-	-	吉祥寺参道脇					○			線外	線外	80m	高104cm幅52cm厚30cm						
岩手 099	岩手県 大槌町 吉里吉里 カルテ 対象マップ	昭和八年三月三日大海嘯記念碑	一、地震があったら津浪の用心せよ 一、津浪が来たら高い所へ逃げよ 一、危険地帯に居住をするな	-	昭和津波	教訓型						昭和9.3	-	-	金毘羅社						○			線外	線内	18m	-					
岩手 100	岩手県 大槌町 吉里吉里 カルテ 対象マップ	海嘯溺死精霊塔	-	-	明治津波	慰霊型						明治30.5.5	-	-	塚鼻神社前						○			線外	線外	40m	高202cm幅138cm厚26cm					
岩手 101	岩手県 大槌町 赤浜	大海嘯記念碑	地震があったら津浪の用心せよ、津浪が来たら高い所へ逃げよ、危険地帯に居住するな【大槌町の被害の記載】	-	昭和津波	教訓型						昭和9.5	大槌町	市町村	-									-	-	-	高196cm幅158cm厚18cm					
岩手 102	岩手県 大槌町 安渡	昭和三十五年五月二十四日津浪災害記念碑	地震があったら津波の用心せよ、地震がなくても異常な引き潮は津波と思え、津浪があったら高い所へ逃げよ	昭和三十五年五月二十四日四時五十分襲来した津波は南米チリで起きた地震によるものであって、突如4mの波高で数回に亘って押し寄せ、家屋の倒壊流失、半壊267戸、浸水984戸を数える他、道路、堤防、橋梁、棧橋、漁業施設、浅海養殖、漁船、商工業、資材農地等に甚大な被害を与え、被害総額九億九千四百万円に達した。なお、この碑は河北新報社及び東北放送局より寄贈金の一部を充て建立したものである。	チリ津波	教訓型						昭和35.12.24	大槌町	市町村	-									-	-	-	高85cm幅152cm厚23cm	大槌川左岸				
岩手 103	岩手県 大槌町	明治29年津波記念碑	過ぎにし明治二十九年六月十五日の夜半に、襲い来りし大海嘯の瞬間にして我が同胞600余の生霊を涙屑と化し、人家560余戸を奪ひ去りたり光景、その凄惨例えるものなし。噫一声の千々の筈や吐血鳥	-	明治津波	教訓型						明治42.6	倉田保之助	個人	-									-	-	-	高151cm幅65cm厚9cm					
岩手 104	岩手県 大槌町	昭和八年三月三日大海嘯記念碑	地震があったら津浪の用心せよ、津浪が来たら高い所へ逃げよ、危険地帯に居住をするな【流失・倒壊数戸数、溺死者数の記載】	-	昭和津波	教訓型						昭和9.3	大槌町	市町村	-									-	-	-	高189cm幅82cm厚17cm	史跡御社地				
岩手 105	岩手県 釜石市 片岸町(室浜) カルテ 対象マップ	津波記念碑	大地震の後には津波が来る 美彦	地震の時午前二時三十分津浪襲来午前三時本碑は東京朝日新聞社読者より寄託されたる義援金、同社が各町村に分配したる残金をもって建立したるものなり。	昭和津波	教訓型						昭和10.3.3	鶴住居村	市町村	(県)吉里吉里釜石線脇							○			線外	線内	10m	高192cm幅101cm厚41cm				
岩手 106	岩手県 釜石市 片岸町(室浜) カルテ 対象マップ	海嘯記念碑	-	-	明治津波	慰霊型						-	-	-	(県)吉里吉里釜石線脇														高153cm幅57cm厚26cm			
岩手 107	岩手県 釜石市 片岸町(片岸) カルテ 対象マップ	津波記念碑	【岩手105と同文】	【岩手105と同文】	昭和津波	教訓型						昭和10.3.3	鶴住居村	市町村	国道45号脇									○			線上	線上	10m	高176cm幅110cm厚54cm		
岩手 108	岩手県 釜石市 片岸町(片岸) カルテ 対象マップ	南無妙法蓮華經八大竜王鎮座	天長地久国土安穩、海上安全村内繁栄	-	明治津波	慰霊型						明治29	木川栄吉	個人	国道45号脇															高121cm幅55cm厚36cm		
岩手 109	岩手県 釜石市 鶴住居町 カルテ 対象マップ	吊祭碑	【漢文】	-	明治津波	慰霊型						明治41.6.15	常楽寺15世	個人	常楽寺										○			線外	線上	11m	高123cm幅48cm厚26cm	

「トップページ」及び「津波被害・津波石碑広域マップ」へは最終ページから移動できます。

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建 立 場 所	浸水線との関係				標高	大 小	備 考		
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波
岩手 110 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 箱崎町(箱崎)	忠烈永芳	故上閉伊郡箱崎小学校教員柄内案吉氏は盛岡の人なり。性朴实にして、漢籍に通じ、村民の信望厚し。偶々明治二十九年六月十五日大海嘯起こるや老母を家族に施し、奮然身を挺して聖影の奉遷に赴き、不幸にして波濤に流さる。翌日、前川徳蔵氏君を汀辺に索む。全身傷を負い、半ば駆泥に埋れ、氣息奄々としてなお影を奉持す。すぐに小川忠四郎氏宅に移し、療を加えるも遂に起きたり。齡五十五聞く者痛惜せなるなし。誠忠まことに世の龜鑑たり。小林弘三氏は里人と相謀りて、これを碑に勒し、もって偉烈を後昆に伝う。 【殉難者の記載】	—	明治津波	慰霊型						昭和 3.6.15	箱崎講中	講中	沿道					線上	線上	15m	高256cm幅130cm厚45cm	
岩手 111 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 箱崎町(箱崎)	津波記念碑	【岩手105と同文】	【岩手105と同文】	昭和津波	教訓型						昭和 10.3.3	鶴住居村	市町村	沿道					線外	線上	15m	高180cm幅120cm厚40cm	
岩手 112 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 箱崎町(箱崎)	津波海嘯殃死無縁者追善供養塔	若生人天中 受勝妙楽 若在佛前 蓮華化生	—	不明	慰霊型						昭和 51.6.27	2名連名	個人	小林宅					不明	線内	11m	高221cm幅65cm厚34cm	
岩手 113 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 箱崎町(大仮宿)	—	【死亡者名の記載】	—	明治津波	慰霊型						明治30. 旧5.5	7名連名	個人	海岸近傍山腹					線外	線上	15m	高172cm幅96cm厚38cm	
岩手 114 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 箱崎町(大仮宿)	海嘯溺死小林勝蔵精霊	—	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	海岸近傍山腹					線外	線上	15m	高88cm幅64cm厚30cm	
岩手 115 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 箱崎町(大仮宿)	海嘯横死無縁塔	—	—	明治津波	慰霊型						—	7名連名	個人	海岸近傍山腹					線外	線上	15m	高88cm幅50cm厚21cm	
岩手 116 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 両石町	両石海嘯記念碑	【漢文】	—	明治津波	慰霊型						明治35.7	—	—	国道45号脇					線上	線上	20m	高167cm幅75cm厚14cm	
岩手 117 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 両石町	海嘯記念碑	—	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	国道45号脇					線上	線上	20m	高190cm幅91cm厚42cm	
岩手 118 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 両石町	津波記念碑	【岩手105と同文】	【岩手105と同文】	昭和津波	教訓型						昭和 10.3.3	鶴住居村	市町村	国道45号脇					線上	線上	20m	高190cm幅104cm厚57cm	
岩手 119 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 大只越町	三陸大海嘯溺死者弔祭之碑	【漢文】	—	明治津波	慰霊型						明治30.3	田中製鉄所 店員一同	団体	石応寺					線外	線外	6m	高260cm幅125cm厚20cm	
岩手 120 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 大只越町	海嘯記念碑	【漢文】	—	明治津波	慰霊型						明治35.6	釜石町	市町村	大只越公園					線外	線外	6m	高236cm幅135cm厚25cm	
岩手 121 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 大只越町	海嘯炎死追悼	—	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	大只越公園					線外	線外	6m	高97cm幅42cm厚27cm	
岩手 122 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 大只越町	海嘯萬人供養塔	—	—	明治津波	慰霊型						—	個人	個人	大只越公園					線外	線外	6m	高160cm幅77cm厚24cm	
岩手 123 <b>カルテ</b> <b>対象マップ</b>	岩手県 釜石市 大只越町	海嘯惨死者追吊記念銅像之記	【漢文】	—	明治津波	慰霊型						明治 35.7.7	2名連名	個人	大只越公園					線外	線外	6m	—	

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所				浸水線との関係		標高	大きさ	備考	
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談				沿道	社寺	公益	他	対象津波	3.11津波				
岩手 124 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 大只越町	欠損	【漢文】	—	明治津波	慰霊型						明治 35.7.7	9名連名	個人	大只越公園				○	線外	線外	6m	—	
岩手 125 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 港町	—	玫瑰の神籬床しき、須賀の御前禍はその創記由緒ともに詳ならずと言えども、龍宮殿の口碑に徴するも尾崎神社攝社、綿津見神社因縁深きを知るに足らん。社地白沙青松の間に在り、晴嵐搖曳勝景の地なりしが、三陸大海嘯の難に遭い、ことごとく流亡して松籟弾琴の調を絶のもの二十有余年、今夏齊藤千松氏、四宮榮治氏附近の泓地早魃の際、一大異石の土中に横わるものあるを発見し、これを発掘せしに龍宮殿のよい字あり。建立の年次古老の口碑に徴し、御前祠の境内にありしものなるを確知せり。すなわち、発起者諸氏の援助を得て、これを舊地に建設し、神域を修築し、鳥居及び御旗を奉納し、もって祭祀復古の記念となす。	—	明治津波	祈念型						大正15	—	—	須賀神社				○	線内	線内	0m	高100cm幅68cm厚24cm	
岩手 126 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 松原町	嘯没者追弔塔	—	—	明治津波	慰霊型	○					明治31. 旧5.5	37名連名	個人	共同墓地				○	線外	線上	11m	高159cm幅84cm厚37cm	
岩手 127 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 嬉石町	海嘯横没精霊	—	—	明治津波	慰霊型	○					明治31. 旧5.5	嬉石衆中	団体	個人宅裏				○	線上	線上	10m	高164cm幅98cm厚20cm	
岩手 128 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 大字平田	海嘯記念碑	願みるに三陸大海嘯の大悲惨事は、明治二十九丙申年旧端午の宵と昭和八癸酉年新雑祭節句の未明との恐るべき二大突発事件であった。先住智賢和尚撰書の丙申海嘯溺没者碑によれば、下平田は全戸数53軒中流壊41、人口400中溺死者男35、女45、馬23、牛5頭、流壊船18艘、製塩所2棟、潮波高さ4丈、南は仁田代口、西は興平ヶ鼻、北は狼ヶ洞に達し、松ヶ鼻の恵比寿岩12の物、怒濤に劈倒せらる。海嘯の猛烈なるを推知せよ。釜石全湾の被害は筆舌に尽くし難し。惨日何事かこれに如かんや。これをもって遺族相謀り碑を建て、もって災死者精霊の菩提宮まんと欲す。(明治三十五年三月十五日建立之)、と述べてあるが、遺憾ながら自然石は風化破壊して修理手におえず、有志相計りてこれを再建せんと欲し、余に撰文を乞う。併せて癸酉海嘯の記事を追加し、海嘯記念碑と題し追弔及び警句の意を兼ねる事とす。癸酉海嘯は下閉伊郡田老と気仙郡本郷とは被害最大であったが、釜石は人畜の被害軽く、死者40人。その中、平田1人だけ、もと家財の被害は甚大だったが、下平田は倒壊流失家屋17戸。不幸中の幸と申すべし。委細は海嘯史に譲る。およそ人類には健忘性がある。後昆この碑を見聞する者、深く警誡して忘却せざるよう余の切に願う所である。	【寄付者、寄付金の記載】	明治・昭和津波	教訓型	○					昭和 32.11	阿部仍	個人	(県)桜峠平田線脇、館山神社前	○				線上	線上	18m	高286cm幅113cm厚18cm	風化により昭和47.4.25現在地に移転
岩手 129 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 大字平田(尾崎白浜)	海嘯横没者供養塔	緒言 海嘯の変化は明治二十九年六月十五日午後八時二十分頃にして、横没する者339人、その中16年以上の男63人、同じく16歳以上の女101人、15歳以下の男児33人、同じく女児42人、流壊家屋71戸なり。この嘯害に罹らざる者庵室と他1戸あるのみ。◆に災死者追悼記念のため、水戸金作の他、38人の施主相ともに謀りてこの碑石を建立し、永久■■■を■■■■■■■。	【寄付者、寄付金の記載】	明治津波	慰霊型	○					明治 30.7.15	和親講中	講中	共同墓地				○	線内	線外	30m	高195cm幅75cm厚41cm	
岩手 130 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 大字平田(尾崎白浜)	三陸大津波犠牲先祖供養塔	往昔から尾崎白浜の地は毎々大津波の災害を蒙っているが、特に明治二十九年六月十五日の如きは一瞬の間に全部落が大津波に呑まれ、家屋はわずか一戸を残すのみ。実に375人の生霊を失い、生存者は幸うじて20人を数えるという稀なる大惨事となり、まことに痛恨を禁じ得ないものがあつた。右に鑑み、大津波の襲来で非命をとげられた多くの先祖ならびに海難事故による遭難者の御霊を久しく御慰籍したい。微衰をもって今回部落民一同の意志りここに供養塔を建立した。	—	明治津波	慰霊型	○					昭和47	堀川豊弘	個人	沿道	○				線内	線上	15m	—	
岩手 131 カルテ 対象マップ	岩手県 釜石市 大字平田(尾崎白浜)	大津波犠牲先祖霊位	—	—	不明	慰霊型						昭和40	尾崎白浜町内会	団体	沿道	○				不明	線上	15m	高139cm幅59cm厚57cm	

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所				浸水線との関係		標高	大きさ	備考			
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談				沿道	社寺	公益	他	対象津波	3.11津波						
岩手 132 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 大字平田(尾崎白浜) <b>対象マップ</b>	中村重兵衛関歴	嘉永五年六月十日誕辰、八歳の折、海難にて父を失う。二十歳を満たずに家業を継ぐ。明治二十九年六月十五日突如襲来の大津浪に家屋請とも家族全員を失い一人助かる。爾来千辛万苦の末、一家復興成る。後に漁業とともに植林に精励す。歳九十まで海に陸に労を惜みまず努力。昭和四十四年五月五日午前七時五十五分、数え年117歳にて天寿を全うす。明治期の大飢饉の際、まだ大津浪の傷痕癒えざるに流浪の難民を救う。一家言「家を離れて働く時、不愉快なる事あるも、帰る跡は必ず笑顔にて敷居を跨ぎ、家人を安心させる事」	-	明治津波	祈念型						昭和44	-	-	共同墓地					○	線内	線外	22m	高156cm幅73cm厚33cm		
岩手 133 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 大字平田(佐須) <b>対象マップ</b>	海嘯記念碑	-	【世話人名の記載】	明治津波	慰霊型						明治45	-	-	防潮堤近傍					○	線内	線内	3m	高200cm幅68cm厚49cm		
岩手 134 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 大字平田(佐須) <b>対象マップ</b>	佐須浜海嘯記	回顧■■■■■は明治二十九年六月十五日午後七時半頃、暴雨の最中、俄然大海嘯あり。三陸沿岸の悲愴を極む中について、釜石附近はその被害の最も酷烈なるものなり。而して当佐須浜の如きは、人畜まことに殆んど全滅す。その惨愴の光景や筆紙の能く尽くす所にあらず。それ被害前における我が佐須浜■■■人家11戸、住民男女97七人の小部落たりき。而して同胞83人、悲鳴一声■■■聞、その影を没す。死体を発見する者ただ2人あるも、辛くも免れて生存する者、実にわずか20人あるのみ。他に海嘯の猛■■■如何を約言せば激浪6丈に余り、大佐須の酌沢を■■■し、小佐須の瀧沢を洗い、人家の如きは其破■■■も存せず。ああこれ即ち全滅せせりという所以なり。這般■■■山に建碑し、ここに二十七回の追吊を営■■■■■記して、もって後■■■資とす。	-	明治津波	教訓型	○					-	-	-	防潮堤近傍					○	線内	線内	3m	高87cm幅75cm厚33cm		
岩手 135 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 大字平田(佐須) <b>対象マップ</b>	海嘯罹災者之墓	-	【(左面)漢文】	明治津波	慰霊型	○					明治30.6	3名連名	個人	防潮堤近傍					○	線内	線内	8m	高152cm幅78cm厚38cm		
岩手 136 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 唐丹町字花露辺 <b>対象マップ</b>	大海嘯・遭難者追哀碑	-	明治二十九年陰曆五月五日午後八時頃、■■■然大海嘯起■■■、瞬時にして激浪■■■この地を襲い、■■■生を失う者、数を知らず。死屍累々海浜に■■■、見る者目を覆う。本村流失戸数368、死者1,786人、■■■部落全戸数38、被害36、死者202人。吊祭■■■しは精魂よる無げし。すなわち三十三回忌■■■■■■■■■■厚くここにこれを弔う。	-	明治津波	慰霊型	○				昭和3.10 5.5	-	-	(県)桜峠平田線脇	○						線内	線外	30m	高210cm幅43cm厚45cm	
岩手 137 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 唐丹町字本郷 <b>対象マップ</b>	海嘯遭難記念之碑	明治二十九年六月十五日邦俗端午の故をもって閨里交賀し、家族互いに歓嬉す。この日朝より陰晴不定昔微雨を伴う。暮地震うこと兩三次、午後八時に及び海上に突如般雷の如き響を聞く。須臾にして狂瀾洪濤天を衝いて襲い來たり。部内800の生靈を奪い、300の屋舎を壊滅し去る。ために部民の拮据經營によりて成れる我が本郷の街区忽焉として荒陬と化し、また幽闇のうち濁浪に漂いし同胞の叫喚、今尚啾々の声あるを、疑いの疲憊の余り身をもって免れたるもの僅かに20名、凄惨またいうべからず。衆庶後昆宜しく協同輯睦民風を振肅し、もって先靈を弔い追遠の誠を数致すべし。昭和三年第三十三回忌辰に丁り、有志相謀りてここに記念の碑を建て、永く世に諒ぐ。	【発起者、寄付者等の氏名の記載】	明治津波	慰霊型	○					昭和3	12名連名	個人	(県)桜峠平田線脇	○						線内	線内	12m	高270cm幅160cm厚155cm	
岩手 138 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 唐丹町字本郷 <b>対象マップ</b>	昭和八年津浪記念碑	大津浪ぐりてめげぬ雄心持ていざ追い進みまい上らまし	【寄付者名、世話人名の記載】	昭和津波	祈念型						昭和9.10 3.3	2名連名	個人	(県)桜峠平田線脇	○						線内	線内	12m	高283cm幅106cm厚36cm	
岩手 139 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 唐丹町字本郷 <b>対象マップ</b>	海嘯遭難者納骨之所	-	-	明治津波	慰霊型						昭和3	邸内一同	集落	(県)桜峠平田線脇	○						線外	線外	15m	高172cm幅110cm厚33cm	
岩手 140 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 唐丹町字小白浜 <b>対象マップ</b>	昭和八年津浪記念碑	大津浪ぐりてめげぬ雄心持ていざ追い進みまい上らまし	【長文】	昭和津波	祈念型	○					昭和9.3.3	-	-	盛岩寺					○	線外	線内	20m	高430cm幅150cm厚150cm		
岩手 141 <b>カルテ</b>	岩手県 釜石市 唐丹町字小白浜 <b>対象マップ</b>	海嘯溺死霊供養碑	-	-	明治津波	慰霊型						明治29.5	-	-	盛岩寺					○	線外	線内	20m	高209cm幅36cm厚31cm		

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考			
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波	
岩手 142 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 釜石市 唐丹町字小白浜 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯記念碑	—	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	盛岩寺					○	線外	線上	20m	高305cm幅112cm厚46cm	
岩手 143 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 釜石市 唐丹町字片岸 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯溺死碑	—	—	明治津波	慰霊型						—	片岸ヶ所衆中	団体	天照御祖神社					○	線上	線上	20m	高100cm幅55cm厚16cm	
岩手 144 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字合足 <a href="#">対象マップ</a>	津波記念碑	地震があつたら津波の用心 【合足の被害の記載】	—	昭和津波	教訓型	○	○				昭和10.3	赤崎村	市町村	沿道					○	線外	線上	22m	高140cm幅100cm厚12cm	
岩手 145 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字合足 <a href="#">対象マップ</a>	○海嘯横死者諸精霊塔	【死亡者数の記載】	—	明治津波	慰霊型	○					—	—	—	沿道					○	線外	線上	22m	高161cm幅83cm厚17cm	
岩手 146 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字外口 <a href="#">対象マップ</a>	丙申海嘯死亡者諸精霊	【死亡者名の記載】	—	明治津波	慰霊型	○					—	7名連名	個人	貴舟神社					○	線外	線外	30m	高126cm幅75cm厚29cm	
岩手 147 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字外口 <a href="#">対象マップ</a>	—	【死亡者の戒名の記載】	—	明治津波	慰霊型	○					—	念仏講中	講中	貴舟神社					○	線外	線外	30m	高137cm幅56cm厚14cm	
岩手 148 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字蛸ノ浦 <a href="#">対象マップ</a>	津波記念碑	地震があつたら津波の用心、津波が来たら高い所へ	—	昭和津波	教訓型	○	○				—	—	—	新沼呉服店前					○	線外	線上	10m	高103cm幅98cm厚43cm	
岩手 149 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字蛸ノ浦 <a href="#">対象マップ</a>	丙申大海嘯横死諸群霊墓	—	—	明治津波	慰霊型						明治45.5	3名連名	個人	沿道					○	線外	線内	8m	高163cm幅57cm厚36cm	
岩手 150 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字蛸ノ浦 <a href="#">対象マップ</a>	津波記念碑	【清水の被害の記載】	—	明治・昭和津波	教訓型	○					昭和10.3	赤崎村	市町村	沿道					○	線外	線上	9m	高155cm幅139cm厚47cm	交差点脇
岩手 151 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字永浜 <a href="#">対象マップ</a>	丙申海嘯横死長濱七拾四名供養塔	【漢文】	—	明治津波	慰霊型	○					明治33 旧8.28	念仏講中	講中	沿道					○	線外	線内	0m	高152cm幅83cm厚4cm	
岩手 152 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字永浜 <a href="#">対象マップ</a>	津波記念碑	地震があつたら津波の用心 【永浜の被害数の記載】	—	昭和津波	教訓型	○	○				昭和10.3	—	—	沿道					○	線内	線内	0m	高141cm幅107cm厚22cm	県道を挟んで海側に移動
岩手 153 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 赤崎町字跡浜 <a href="#">対象マップ</a>	津波記念碑	地震があつたら津波の用心、津波が来たら高い所へ 【赤崎村の溺死者数、被害戸数の記載】	建設の由来 昭和八年の三陸津浪に際し東京朝日新聞社において募集せる義援金の各町村へ分配したる残額を記念碑建設費として寄贈せられたるにより、昭和十年三月、当所、永浜、清水、蛸浦、合足の五ヶ所に記念碑を建設したり。	明治・昭和津波	教訓型	○	○	○			昭和10.3	赤崎村	市町村	(県)大船渡綾里三陸線脇					○	線上	線内	0m	高325cm幅92cm厚72cm	
岩手 154 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 猪川町字長谷堂 <a href="#">対象マップ</a>	萬人霊塔	—	—	明治津波	慰霊型						明治29.9	4名(東組若連)	個人	長谷寺					○	線外	線外	35m	高184cm幅85cm厚24cm	
岩手 155 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 盛町 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯記念	【戒名の記載】	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	浄願寺					○	線外	線外	30m	高89cm幅45cm厚22cm	
岩手 156 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 盛町 <a href="#">対象マップ</a>	大海嘯記念碑	【長文】	【寄附者名の記載】	明治津波	教訓型	○					明治 35.6.15	多数	個人	洞雲寺					○	線外	線外	30m	—	

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建 立 場 所	浸水線との関係				標高	大きさ	備 考		
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波
岩手 157 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 盛町 <a href="#">対象マップ</a>	昭和35年5月24日チリ地震津波襲来地点	-	-	チリ津波	教訓型						-	大船渡市	市町村	大船渡市農協会館				○	線上	線内	4m	高28cm幅60cm	
岩手 158 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字富沢 <a href="#">対象マップ</a>	○海嘯死者碑		【死者数の記載】	明治津波	慰霊型						明治30 旧8.5	村内大衆中	団体	西光寺				○	線外	線外	17m	高177cm幅47cm厚21cm	
岩手 159 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字富沢 <a href="#">対象マップ</a>	津波記念碑	一、想起せ昭和八年三月三日 二、大地震の後には津波に注意せよ 三、三四十年来一度は津波が来るものと思え 四、急に潮が引いたら警鐘ならせ 五、警鐘聞いたら高い所に	建設ノ由来 昭和八年三月三日の震嘯災に当り、東京朝日新聞社が率先して義援金の募集をなし、罹災各町村に対し巨額の義援金を寄贈せられしが、今日更にまた記念碑建設費として多額の金員を寄贈せられしをもって、ここに本社の趣旨により碑を建設して永久にこれを記念せんとす。	昭和津波	教訓型						昭和9.3.3	-	-	西光寺				○	線外	線外	17m	高259cm幅127cm厚24cm	
岩手 160 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字富沢 <a href="#">対象マップ</a>	津波犠牲者供養塔	-	-	不明	慰霊型						-	-	-	西光寺				○	不明	線外	17m	高250cm幅63cm厚64cm	
岩手 161 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字富沢 <a href="#">対象マップ</a>	津波犠牲者の霊に捧げる		あなた方の死をむだにはいたしません。いつ、どんな津波が襲って来ても、それに打ち勝つ十分な備えを持ち、総力を挙げて私たちの町を守ります。悲しい出来事が起こった一年前のあの日から、海に生き、海とともに伸びて行く私たちの町の新しい建設は真剣に進められています。どうぞ安らかに眠ってください。	チリ津波	祈念型						昭和36.5.24	大船渡市	市町村	西光寺				○	線外	線外	17m	高69cm幅89cm	
岩手 162 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字地ノ森 <a href="#">対象マップ</a>	昭和35年5月24日チリ地震津波襲来地点	-	-	チリ津波	教訓型						-	大船渡市	市町村	沿道				○	線上	線内	7m	高31cm幅61cm	東急クリーニング店前
岩手 163 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字野々田 <a href="#">対象マップ</a>	昭和35年5月24日チリ地震津波襲来地点	-	-	チリ津波	教訓型						-	大船渡市	市町村	沿道				○	線上	線内	7m	高31cm幅61cm	宇野々田平山クリーニング店前
岩手 164 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字笹崎 <a href="#">対象マップ</a>	昭和35年5月24日チリ地震津波襲来地点	-	-	チリ津波	教訓型						-	大船渡市	市町村	国道45号脇				○	線上	線内	4m	高31cm幅61cm	
岩手 165 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 大船渡町字下大船渡 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯溺死者霊	-	-	明治津波	慰霊型						明治35	念仏講中	講中	下船渡公園				○	線外	線外	20m	高157cm幅97cm厚35cm	(県)丸森権現堂線脇から下船渡公園へ移動
岩手 166 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字石浜 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月海嘯襲来地点	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	沿道				○	線外	線上	7m	高96cm幅20cm厚8cm	船河原公民館脇
岩手 167 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字石浜 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年三月海嘯襲来地点	-	-	昭和津波	教訓型						-	-	-	沿道				○	線外	線外	12m	高93cm幅24cm厚9cm	藤沢氏宅脇
岩手 168 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字石浜 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月海嘯襲来地点	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	沿道				○	線外	線外	14m	高98cm幅23cm厚9cm	熊谷氏宅前
岩手 169 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字内田 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年三月海嘯襲来地点	-	-	昭和津波	教訓型						-	-	-	沿道				○	線外	線上	6m	高88cm幅23cm厚7cm	近藤氏宅脇
岩手 170 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字内田 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月海嘯襲来地点	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	沿道				○	線外	線外	10m	高100cm幅16cm厚6cm	岩脇氏宅脇

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建立場所				浸水線との関係		標高	大きさ	備考		
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談				沿道	社寺	公益	他	対象津波	3.11津波					
岩手 171 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字細浦 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年三月海嘯襲来地点	-	-	昭和津波	教訓型						-	-	-	沿道	○					線外	線内	5m	高79cm幅23cm厚9cm	
岩手 172 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字細浦 <a href="#">対象マップ</a>	吊魂	-	-	明治津波	慰霊型						明治30 旧5.5	同盟会衆中	団体	沿道	○					線外	線内	5m	高138cm幅67cm厚40cm	
岩手 173 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字細浦 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿八年六月海嘯襲来地点	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	沿道	○					線外	線内	5m	高98cm幅21cm厚7cm	東日本大震災の津波で流失
岩手 174 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字細浦 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯溺死之霊	-	【世話人名の記載】	明治津波	慰霊型						-	気仙村	市町村	長源寺		○				線外	線外	12m	高174cm幅71cm厚11cm	
岩手 175 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字細浦 <a href="#">対象マップ</a>	津浪横死者供養碑	-	【慶長から昭和までの津波史の記載】	その他	慰霊型						昭和 10.3.3	末崎村	市町村	長源寺		○				不明	線外	12m	高304cm幅125cm厚20cm	
岩手 176 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字中野 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年三月海嘯襲来地点	-	-	昭和津波	教訓型						-	-	-	村上氏宅角川辺				○	線上	線上	8m	高123cm幅24cm厚8cm		
岩手 177 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字中野 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月海嘯襲来地	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	(県)大船渡 広田陸前高 田線脇	○				線外	線内	20m	高82cm幅22cm厚7cm	村上氏宅角	
岩手 178 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字細浦 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯記念碑	ふき出しその荒波のものかいしさを想い出てもかしこむやけふ【長文】	【寄付者名等の記載】	明治津波	慰霊型	○					明治 35.6.15	6名連名	個人	(県)大船渡 広田陸前高 田線脇	○				線外	線外	30m	高184cm幅140cm厚37cm	葛西氏宅横空地	
岩手 179 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字山岸 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	沿道	○				線外	線内	7m	高49cm幅25cm厚8cm	菅原氏宅前	
岩手 180 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字鶴巻 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月海嘯襲来地点	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	沿道	○				線外	線上	15m	高81cm幅17cm厚7cm	大友氏宅脇	
岩手 181 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字門之浜 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月海嘯襲来地点	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	村上氏宅西			○	線外	線外	22m	高100cm幅23cm厚6cm			
岩手 182 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字門之浜 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年三月海嘯襲来地点	-	-	昭和津波	教訓型						-	-	-	沿道	○				線上	線上	7m	高123cm幅25cm厚5cm	中島氏宅前	
岩手 183 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字門之浜 <a href="#">対象マップ</a>	明治廿九年六月海嘯襲来地	-	-	明治津波	教訓型						-	-	-	沿道	○				線外	線内	10m	高94cm幅23cm厚8cm	山田氏宅前	
岩手 184 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 末崎町字西館 <a href="#">対象マップ</a>	昭和八年三月海嘯襲来地点	-	-	昭和津波	教訓型						-	-	-	(県)碓石海 岸線脇	○				線上	線外	7m	高114cm幅24cm厚5cm	大和田理容店脇	

「トップページ」及び「津波被害・津波石碑広域マップ」へは最終ページから移動できます。

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建立年月日	施主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考					
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					対象津波											
																沿道	社寺	公益	他								
岩手 185	岩手県 大船渡市 末崎町字中森	海嘯記念碑	恐ろしき大海嘯の我が三陸の海岸を襲いしは、明治二十九年六月十五日旧暦五月五日の午後八時頃なりき。この日、終日曇天、午後は殊に濃霧深く小雨さえ混じり、夜は月なく陰闇の気物凄き程なり。折しも、遠雷の響きに連れて怒濤澎湃すわと言う間も何れせず、万雷地軸を挫いて我が村は数十尺の高波に侵されたり。この日はあたかも端午の節句かつ田植えの頃とて他へ嫁いでいる物も帰り、一家皆打ち揃う天あり。この危急の災難誰かは免れるべき、親は子を、夫は妻を助くる間なく相率いて失いぬ。波はわずかに五分ばかりにて退けば、樹は抜かれ家は流され、満目惨憺、後数日海底に沈みし死骸累々として現る。既に腐敗して性別のつかぬもあり、見知らぬ他村のものあり、流失して影さえ留めぬもあり、かくて数うれば我が泊里の分、溺死261、各流失家屋57戸なり。ああ痛ましくも恐ろしいかな。天朝にてはこれを聞き召され、侍従東園基愛を遣わされ、各県にては皆義援して救済せられき。己当時年二十六、幸いにもこの厄を免れたれば、一つは精霊供養のため、一つはこの惨状を後に伝えんため、かくは石碑を建つるになむ。	—	明治津波	教訓型	○						—	熊谷氏	個人	麟祥寺		○				線外	線外	22m	高202cm幅93cm厚16cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 186	岩手県 大船渡市 末崎町字中森	明治丙申海嘯溺死吊魂碑	—	—	明治津波	慰霊型							昭和3.6	末崎赤十字団	団体	麟祥寺		○					線外	線外	22m	高151cm幅76cm厚18cm	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 187	岩手県 大船渡市 末崎町字中森	津浪横死者慰霊塔	—	【慶長から昭和までの津波史の記載】	その他	慰霊型	○						昭和10.3	末崎村	市町村	麟祥寺		○				不明	線外	22m	高131cm幅63cm厚55cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 188	岩手県 大船渡市 末崎町字泊里	昭和八年三月海嘯襲来地点	—	—	昭和津波	教訓型							—	—	—	沿道		○				線上	線内	5m	高107cm幅24cm厚6cm	佐々木氏宅前	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 189	岩手県 大船渡市 末崎町字泊里	明治二十九年六月海嘯襲来地	—	—	明治津波	教訓型							—	—	—	沿道		○				線外	線上	14m	高98cm幅23cm厚6cm	熊上氏宅前	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 190	岩手県 大船渡市 末崎町字大浜	昭和八年三月海嘯襲来地点	—	—	昭和津波	教訓型							—	—	—	沿道		○				線上	線内	10m	高120cm幅30cm厚8cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 191	岩手県 大船渡市 末崎町字大浜	明治二十九年海嘯襲来地	—	—	明治津波	教訓型							—	—	—	沿道		○				線外	線上	14m	高108cm幅18cm厚8cm	民宿大徳荘前	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 192	岩手県 大船渡市 末崎町字高清水	昭和八年三月海嘯襲来地点	—	—	昭和津波	教訓型							—	—	—	沿道		○				線上	線内	10m	高77cm幅22cm厚7cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 193	岩手県 大船渡市 末崎町字高清水	明治二十九年海嘯襲来地点	—	—	明治津波	教訓型							—	—	—	沿道		○				線外	線内	12m	高121cm幅23cm厚9cm	細川氏宅脇	
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 194	岩手県 大船渡市 三陸町吉浜	嗚呼惨哉海嘯	【死亡者名の記載】	—	明治津波	慰霊型							明治30.4	—	—	正寿院		○				線上	線外	20m	高268cm幅147cm厚43cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 195	岩手県 大船渡市 三陸町吉浜	津波記念碑	— 大地震の後には津浪が来る — 俄に潮が引いたら警鐘を打て — 警鐘を聞いたなら避難せよ — 三四十年来てば来ると思へ	—	昭和津波	教訓型		○	○				—	—	—	橋本美容店裏				○		線外	線外	30m	高169cm幅45cm厚45cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										
岩手 196	岩手県 大船渡市 三陸町吉浜	開墾碑	【漢文】	—	明治津波	祈念型							昭和3.6	—	—	沿道		○				線内	線内	10m	高131cm幅120cm厚30cm		
<a href="#">カルテ</a>	<a href="#">対象マップ</a>																										



番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分 類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考					
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波			
																									○	○	○
岩手 197 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町越喜来字杉下 対象マップ	嗚呼惨哉海嘯	【漢文】	—	明治津波	慰霊型	○					明治31.6	—	—	円満寺				○				線外	線外	33m	—	
岩手 198 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町越喜来字杉下 対象マップ	津波記念	【死亡者名の記載】 昭和八年三月三日午前三時半大津浪が襲来して甚大な被害を与え、遂には二十八柱の御魂を海底に沈めた。村当局は明治二十九年の津浪と度重なる罹災に鑑み津浪に関する教訓を後世に伝えるべく碑の建立を計画したが、事情によりその実現をみないまま今日に至った。現今、防災に関する施策の著しいものがあるとはいえ、不測の天災について常に備えのあるべきことを念願すると共に、受難者二十八柱の御名を刻して五十回忌の法要を営み、区民一同ここに供養碑を建立する次第である。	一、大地震の後には津波が来る 一、地震があったら高い所へ集まれ 一、津浪に追はれたら何処でもここらしいの高い所へ上がれ 一、遠くへ逃げては津浪に追つかれる 一、近くの高い所を用意しておけ 一、県指定の住宅適地より低い所へ家を建てるな	昭和津波	教訓型		○	○	○		昭和57.3.3	供養碑建立実行委員会	団体	(県)崎浜港線脇				○				線外	線外	20m	高270cm幅125cm厚19cm	
岩手 199 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町越喜来字仲崎浜 対象マップ	津波記念碑	【漢文】	たかしほのあとかへりみていそしまは名におふ村に家もさかえむ	昭和津波	教訓型		○	○			昭和10.3.3	越喜来村	市町村	(県)崎浜港線脇				○				線外	線外	10m	高212cm幅125cm厚15cm	
岩手 200 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町越喜来字仲崎浜 対象マップ	—	【漢文】	—	昭和津波	教訓型	○					昭和10.1	—	—	正源寺				○				線外	線外	35m	高233cm幅102cm厚20cm	
岩手 201 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町越喜来字仲崎浜 対象マップ	海嘯溺死者供養碑	【崎浜の死亡者数の記載】	—	明治津波	慰霊型						明治30.旧10.11	崎浜念仏女講中	講中	正源寺				○				線外	線外	35m	高258cm幅70cm厚23cm	
岩手 202 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町越喜来字甫嶺 対象マップ	海嘯溺死記念碑	—	—	明治津波	慰霊型						明治35.旧4	上下甫嶺・泊部落一同	集落	龍晶寺				○				線外	線外	55m	高223cm幅97cm厚22cm	
岩手 203 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町越喜来字鬼沢 対象マップ	津浪記念碑	【越喜来村の被害の記載】	たかしほのあとかへりみていそしまは名におふ村に家もさかえむ	昭和津波	祈念型						昭和10.3.3	越喜来村	市町村	(県)大船渡綾里三陸線脇				○				線上	線上	5m	高206cm幅91cm厚15cm	
岩手 204 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町綾里字小石浜 対象マップ	萬死之霊	【漢文】	【小石浜の被害の記載】	明治津波	慰霊型	○					—	27名連名	個人	(県)大船渡綾里三陸線脇				○				線外	線外	40m	高210cm幅102cm厚17cm	
岩手 205 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町綾里字岩崎 対象マップ	海嘯溺死者霊	—	—	明治津波	慰霊型						—	—	—	長林寺入口				○				線外	線外	12m	高184cm幅67cm厚29cm	
岩手 206 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町綾里字岩崎 対象マップ	家譜	遠祖村上長衛門は本県江刺郡岩谷堂町の生にして魚商を業として本郡沿岸に來住せしが、本村野之前即ち既往の地の利あるを知り遂に居をここにトシ、商のほか漁業を営み、もって産を積み家を興し創業の功を成就す。第二世善次郎、第三世善三郎、第四世善五郎、第五世善太郎、皆よく父祖の偉業を継承して家政を維持す。第六世己之作、天資英邁果斷、商機を察すこと敏にして、成す家産ために富み資財よって裕なり。家屋を新築し倉庫等も増築施設するやすこぶる多く、名声遠近に知らる時に明治二十九年六月十五日午後八時半頃、千載記憶を消するあたわざるの大惨害三陸沿岸の大海嘯は實に当地中心点にて数十丈の激濤激濤陸を呑む三回。該家も不幸にしてその狂洗渦中に葬むらる。家屋器財と共に家族十有七人流亡し、生存せるは独り、当第七世己之作のみ。惨もまた極まれりと謂うべし。昔慶長五年の大海嘯の被害ありと仙台文庫に伝ふ。ああそれなんぞ無情なるや、魚毒の民苦しむるの酷なるや、これ第七世己之作家族の死を悼み、かつ先祖の名霊を吊祭せむと、これを石に刻し先考と旧知ありよりて不肖と言えども需に應じ、これを誌す。 【戒名、享年の記載】	—	明治津波	慰霊型						明治35.6	—	—	長林寺				○				線外	線外	15m	—	
岩手 207 カルテ	岩手県 大船渡市 三陸町綾里字岩崎 対象マップ	頌徳碑	【漢文】	—	明治津波	祈念型						—	—	—	長林寺				○				線外	線外	15m	高343cm幅132cm厚22cm	

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考					
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波			
岩手 208 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 大船渡市 三陸町綾里字館 <a href="#">対象マップ</a>	嗚呼惨哉海嘯	【漢文】	—	明治津波	慰霊型	○						明治30	—	—	沿道	○					線上	線上	8m	高240cm幅115cm厚22cm	別荘下	
岩手 209 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 小友町字門前 <a href="#">対象マップ</a>	没溺供養塔	—	—	その他	慰霊型							弘化 4.8.18	17名連名	個人	華厳寺		○					不明	線内	12m	高132cm幅40cm厚40cm	
岩手 210 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 小友町字門前 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯溺死供養塔	—	—	明治津波	慰霊型							明治31	4名連名	個人	華厳寺		○					線外	線内	12m	高112cm幅69cm厚43cm	
岩手 211 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 小友町字門前 <a href="#">対象マップ</a>	弔 海嘯・赤痢亡霊	—	—	明治津波	慰霊型							—	5名連名	個人	華厳寺		○					線外	線内	12m	—	
岩手 212 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 小友町字門前 <a href="#">対象マップ</a>	弔海嘯溺死霊	—	—	昭和津波	慰霊型							—	只出部落	集落	華厳寺		○					線外	線内	12m	高178cm幅99cm厚37cm	
岩手 213 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 広田町字長洞 <a href="#">対象マップ</a>	—	(一)地震があったら津浪の用心 (二)それ津浪機敏に高所へ	(三)低いところに住家を建てるな (四)津浪と聞いたら欲捨て逃げろ	昭和津波	教訓型		○	○	○			昭和9.3.3	廣田村	市町村	黄川田実氏宅前					○		線上	線内	8m	高212cm幅24cm厚24cm	
岩手 214 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 広田町字後花貝 <a href="#">対象マップ</a>	—	【岩手213と同文】	【岩手213と同文】	昭和津波	教訓型		○	○	○			昭和9.3.3	廣田村	市町村	(県)大船渡 広田陸前高田線脇		○					線外	線上	15m	高212cm幅24cm厚23cm	小松氏宅前
岩手 215 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 広田町字大久保 <a href="#">対象マップ</a>	津浪記念碑	一、大地震の後は津浪が来るよ 一、地震があった高所へ集まれ 一、津浪と聞いたら欲捨て逃げろ 一、低いところに住家を建てるな	幾度と繰り返される津浪の惨害より脱れむるため、東京朝日新聞全国読者の御同情義援金の内で寄託者の要望により本碑を建設す。	明治・昭和津波	教訓型	○	○	○	○			昭和9.3	廣田村	市町村	(県)大船渡 広田陸前高田線脇		○					線外	線上	20m	高275cm幅122cm厚19cm	広田公民館前
岩手 216 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 広田町字根岬 <a href="#">対象マップ</a>	—	【岩手213と同文】	【岩手213と同文】	昭和津波	教訓型		○	○	○			昭和9.3.3	廣田村	市町村	(県)大船渡 広田陸前高田線脇		○					線外	線外	22m	高212cm幅24cm厚23cm	木村酒店角
岩手 217 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 広田町字根岬 <a href="#">対象マップ</a>	海嘯溺死霊供養塔	—	—	明治津波	慰霊型							明治32.2	9名連名	個人	鶴樹神社		○					線外	線外	30m	高131cm幅49cm厚34cm	
岩手 218 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 広田町字根岬 <a href="#">対象マップ</a>	鹿島社	—	—	明治津波	—							—	堂之前講中	講中	鶴樹神社		○					線外	線外	30m	高85cm幅53cm	
岩手 219 <a href="#">カルテ</a>	岩手県 陸前高田市 広田町字泊 <a href="#">対象マップ</a>	佐佐木大三郎翁 頌徳碑	椿花潮に映する広田港口万里の怒濤を遮る防波堤を修築し、百千の船舶舩を摩す良港たらしめたるはこれ何人ぞや。元村長佐々木大三郎翁その人なり。翁は明治九年八月二日本町字泊の素封家丑之助氏の長男として生る。幼名國之助、後祖父を襲名して大三郎と称す。翁人となり温和、寡黙、謹厳、進取の気象に富み、つとに志を水産振興に効し、遠洋漁業の先覚者として令名業界に鳴る。また、消防組頭漁業組合長、広田村長、県鯉鱒組合長、その他幾多の公職に挙げられ、なお水産学校を創立する等、その功績村史に燦然たり。就中昭和八年三月三日三陸大海嘯の惨禍倭惨を極め、村民疲弊困憊、その極にある時推されて村長となり。これが復興に身を挺す時に石黒長官復興状況視察のため来村。翁即ち時の村会議員漁業組合役員等と相諮り、広田港改修を陳情。翌九年県費支弁港に指定せられ、県営をもってこの大工事に着工、遂に今日の良港を見るに至る。これ一に翁の高徳と卓見と莫大なる私財投入の賜にあらずして何だや。昭和二十年十一月一日世を辞す。享年七十五。翁の生涯は実に至誠奉公の典型なり。ここに町制施行の記念すべき秋碑を建て、その高徳を頌す。	【広田港改修に関わった者の氏名の記載】	昭和津波	祈念型							昭和 27.11.20	廣田村	市町村	(県)大船渡 広田陸前高田線脇		○					線内	線内	5m	高195cm幅85cm厚14cm	

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所				浸水線との関係		標高	大きさ	備考			
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談				沿道	社寺	公益	他	対象津波	3.11津波						
																								○	○	○
岩手 220	岩手県 陸前高田市 広田町字泊	海嘯招霊碑	-	維明治二十九年歲次丙申にあり五月■五日の海嘯は実■今古未曾有の一大変災といふべきなり。その日煙雨あり、海面■々として一陣の風なきに、後八時の頃■俄然海中に鳴動を起す■滔天の怒濤、瞬息の間に無数の生靈をその渦中に捲き去る。父母妻子たちまちにして生■と別■の百有余人、田園家屋たちまちにして破清流失せし四十有余名、ああ■遭難者何因縁を此悲■は其魂を托するに由なく、存者は其■安す■所■人生寧ろこの如きの惨事あらんや。つとに思ひしに哭し■々露■に忘■今■は亡者三周の忌景に過う吊の痕に■同感の諸費淨財を蒐集し、一碑を建立す。一は幽冥■し、一は後代の記念として設立するものなり。	明治津波	慰霊型	○					明治31.8	-	-	慈恩寺			○				線外	線上	15m	高246cm幅105cm厚44cm	
岩手 221	岩手県 陸前高田市 広田町字泊	-	【岩手213と同文】	【岩手213と同文】	昭和津波	教訓型	○	○	○		昭和9.3.3	廣田村	市町村	(県)大船渡 広田陸前高田線脇			○				線外	線外	17m	高212cm幅24cm厚23cm		
岩手 222	岩手県 陸前高田市 米崎町字沼田	大津浪記念之碑	不意の地震に不断の覚悟 大津浪強い地震の後に来る 地震後引く潮津浪と思へ 津浪と思わばすばやく知らせよ 避難には欲得はなれて皆丘へ	一、明治二十九年六月十五日(旧五月五日)午後八時地震後大津浪あり。村内倒壊家屋18軒、死者11名、負傷38名 一、昭和八年三月三日(旧二月八日)午前二時頃大地震、続いて沖に大音響あり。後干潮甚しく、同二時半頃大津浪襲来。倒壊家屋12軒、死者8名、負傷者3名。	明治・昭和津波	教訓型	○	○	○		昭和10.3.3	米崎村	市町村	沿道			○				線内	線内	3m	高201cm幅89cm厚19cm	沼田公民館前	
岩手 223	岩手県 陸前高田市 気仙町字湊	津浪記念碑	一、不時の津浪に不断の用心 一、地震の後どんと鳴ったら津浪と思へ 一、地震の後潮が退いたら警鐘を打て 一、津浪来たなら直ぐ逃げろ 一、金品より生命	昭和八年三月三日午前二時三十分、地震うこと約三分、続いて海に爆音あり、後三十分ばかりにして激浪狂波地を卷いて来たり。本港部落またほとんど全滅の災に罹り、倒壊家屋54戸、死者32名、傷者20名に及び、死体旁午、梁棟狼籍、風ために咽び、氣ために生臭し。而して災後生存民はなおその地を去らず。明治二十九年の這般災厄、当時における波浪の状況に鑑み、工費二万数千円を投じ、5,500坪の地区新に土を盛ること高さ約9尺、東南端に石堤を築き、その南側一帯を緩衝地に充て、もって綱繆の計をなし、もって安住の地を定む。ここにこの碑は東京朝日新聞社の募集配贈に係る義援金をもって建設したるものにして、要は這般の難を記念し、併せてそのよる所を後人に諺げんがためなり。	昭和津波	教訓型	○	○	○		昭和9.3	気仙町	市町村	沿道			○					線上	線上	5m	高282cm幅135cm厚19cm	
岩手 224	岩手県 盛岡市 愛宕町	三陸海嘯難死者供養	【東北三県の死亡者数の記載】	【溺死者名の記載】	明治津波	慰霊型	○				-	得心講中	講中	正伝寺			○				線外	線外	-	高225cm幅90cm厚26cm		
岩手 225	岩手県 花巻市 大畑	三陸海嘯横死者精霊大念仏供養	-	-	明治津波	慰霊型					-	念仏連中	講中	沿道			○				線外	線外	-	高133cm幅63cm厚8cm		
宮城 001	宮城県 気仙沼市 唐桑町竹の袖	昭和八年三月三日大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【大沢の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	賀茂神社境内			○				線内	線内	3m	高206cm幅90cm厚18cm	東日本大震災の津波により上部破損	
宮城 002	宮城県 気仙沼市 唐桑町只越	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【只越の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高202cm幅90cm厚20cm	県道御崎線(旧国道)脇	
宮城 003	宮城県 気仙沼市 唐桑町明戸	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【石浜の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高217cm幅92cm厚20cm	砂子浜、県道脇	
宮城 004	宮城県 気仙沼市 唐桑町宿浦	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【宿の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高210cm幅89cm厚17cm	良蔽院入口参道	
宮城 005	宮城県 気仙沼市 唐桑町東舞根	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【舞根の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高202cm幅93cm厚19cm	県道脇	
宮城 006	宮城県 気仙沼市 唐桑町鮎立	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【鮎立の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高204cm幅90cm	八幡神社参道	
宮城 007	宮城県 気仙沼市 唐桑町小鯖	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【小鯖の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高196cm幅92cm厚20cm	小鯖海岸	
宮城 008	宮城県 気仙沼市 唐桑町中井	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【中井の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高204cm幅90cm	滝浜海岸	
宮城 009	宮城県 気仙沼市 唐桑町崎浜	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城001と同文】	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余万円を羅災市町村へ配分した残金を持って建てたものです。 【馬場の被害数の記載】	昭和津波	教訓型	○				-	唐桑村	市町村	-							-	-	-	高208cm幅93cm厚18cm	津波体験館敷地内	
宮城 010	宮城県 気仙沼市 唐桑町馬場	丙申大海嘯記念碑	【漢文】	-	明治津波	教訓型	○				明治35.10	-	-	-							-	-	-	高374cm幅164cm	地福寺境内	

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年月日	施 主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考		
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					対象津波	3.11津波	沿道	社寺				公益	他
宮城 011	宮城県 気仙沼市 横沼(大島)	大地しんそれつ なみ	大地しんそれつなみ【明治津波と昭和津波の震嘯日 時、人畜・家屋の被害、被害金額、義捐金の記載】	—	明治・昭和津波	教訓型	○	○				昭和 9.6.10	大島村	市町村	—					—	—	—	高160cm幅 73cm厚30cm	
宮城 012	宮城県 気仙沼市 長崎(大島)	MEMORIAL OF THE GREAT EARTHQUAKE AND TIDALWAVE	【漢文】	—	明治・昭和津波	未確定						—	大島村	市町村	—					—	—	—	—	民宿幸坂荘の 向い
宮城 013	宮城県 気仙沼市 (大島)	震嘯記念	昭和八年三月三日暁ちかき頃大なぬふる人々驚きて 家の外に走り出でたる…大君はいたく御心を痛めさせ たまひてあまたの金を村々の災にあひし人々にたまは り…【略】	—	昭和津波	未確定						昭和9.10	大島村	市町村	—					—	—	—	高161cm幅 80cm厚28cm	
宮城 014	宮城県 気仙沼市 三ノ浜(鶴ヶ浦)	大震嘯災記念	大地震どんと沖鳴りそら津波	大震嘯災概況 昭和八年三月三日午前二時三十二分 より二分間余にわたる大地震起こる。天より約十五分 後、気仙郡沖合方面遥の海底に大小の爆音二回聞こ ゆ。後二十分にして大津浪来る。その被害区域本県よ り北海道に及ぶ。【被害の記載】長くも両陛下より御救 恤金、更に皇后陛下より重傷者に衣服地、ここに裁縫 料各宮殿下より御救恤金を御下賜あらせらる。御仁慈 恐懼感激に禁はず。この記念碑は東京朝日新聞社へ 寄託の義援金二十余万円を罹災町村へ分配したる残 額をもって建立したるものなり。	【宮城014と同文】	昭和津波	教訓型	○	○			—	気仙沼村	市町村	県道大島浪 板線脇	○				線上	線上	2m	高214cm幅 89cm厚20cm	御岳神社鳥居 脇
宮城 015	宮城県 気仙沼市 二ノ浜(梶ヶ浦)	大震嘯災記念	大地震それ来るぞ大津波	【宮城014と同文】	昭和津波	教訓型	○	○				—	気仙沼村	市町村	県道大島浪 板線脇	○				線外	線上	10m	高221cm幅 93cm厚24cm	
宮城 016	宮城県 気仙沼市 小々汐	大震嘯災記念	大地震どんと沖鳴りそら津波	【死傷者数、被害額等の記載】	昭和津波	教訓型	○	○				—	気仙沼村	市町村	—					—	—	—	高228cm幅 92cm厚22cm	
宮城 017	宮城県 気仙沼市 大浦	大震嘯災記念	大地震それ来るぞ大津波	【死傷者数、被害額等の記載】	昭和津波	教訓型	○	○				—	気仙沼村	市町村	—					—	—	—	高208cm幅 94cm厚21cm	
宮城 018	宮城県 気仙沼市 浪板	大震嘯災記念	【宮城014と同文】	【宮城014と同文】	昭和津波	教訓型	○	○				—	気仙沼村	市町村	吉田鉄鋼所 前、個人宅 地内				○	線外	線上	10m	高220cm幅 93cm厚24cm	
宮城 019	宮城県 気仙沼市 港町	大震嘯災記念	大地震それ来るぞ大津波	【死傷者数、被害額等の記載】	昭和津波	教訓型	○	○				—	気仙沼村	市町村	—					—	—	—	高246cm幅 92cm厚20cm	
宮城 020	宮城県 気仙沼市 波路上	海嘯記念碑	方明治二九年端午日有千古未曾有之海嘯三陸沿海 之地悉罹其災…流失家屋九一溺死男女四百三十七馬 七十二嗚呼一世之惨事…	—	明治津波	未確定						昭和 40.8.25	階上村中	集落	—					—	—	—	高158cm幅 105cm厚55cm	
宮城 021	宮城県 気仙沼市 波路上	明治二十九年三 陸大海嘯物故者 百年忌供養記念 碑	無限被災遭難客、宝楼閣上普招魂、三曼多没陀南観、 一雨滂沱甘露門、安かれと拝む心にかよいくる御霊を 照らせ法のともしび	—	明治津波	慰霊型						平成 7.6.11	地福禅寺法 要実行委員 会	団体	—					—	—	—	高55cm幅9cm 厚13cm	地福寺、東日 本大震災の津 波で流失
宮城 022	宮城県 気仙沼市 波路上	大震嘯災記念	地震があったら津波の用心	【明治津波の被害、昭和津波時は高台移転のため小被 害の記載】	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	—	—	—					—	—	—	高160cm幅 73cm厚39cm	
宮城 023	宮城県 気仙沼市 本吉町大谷	震嘯記念碑	【漢文】	—	明治津波	未確定						大正2.9.3	大谷部落寄 付者	集落	—					—	—	—	高202cm幅 102cm厚56cm	大谷漁港、東 日本大震災の 津波で流失
宮城 024	宮城県 気仙沼市 本吉町大谷	震嘯記念	地震があったら津浪に用心	(右)【被害金額の記載】(左)【津波襲来自国の記載】 (裏)【建碑担当者名の記載】	昭和津波	教訓型	○	○				—	大谷村	市町村	—					—	—	—	高199cm幅 36cm厚31cm	大谷漁港、東 日本大震災の 津波で流失
宮城 025	宮城県 気仙沼市 本吉町	海嘯祈念碑	【漢文】	—	明治津波	教訓型						明治 30.11	—	—	—					—	—	—	高180cm幅 88cm厚26cm	清涼院
宮城 026	宮城県 気仙沼市 本吉町新圃の沢	海嘯碑	【漢文】	—	明治津波	未確定						—	浄福寺28代 住職中村宗	個人	—					—	—	—	高142cm幅 98cm厚37cm	浄福寺
宮城 027	宮城県 気仙沼市 本吉町泉	有縁無縁三界万 霊塔	【漢文】	—	明治津波	慰霊型						明治 29.12	町内念仏講 中	講中	—					—	—	—	高122cm幅 64cm厚30cm	小泉大橋、東 日本大震災の 津波で流失
宮城 028	宮城県 気仙沼市 本吉町二十一浜	昭和八年三月三 日大震嘯災記念 碑	地震があったら津浪の用心	【被害状況の記載】	昭和津波	教訓型	○	○				昭和9.3.1	小泉村青年 団	団体	—					—	—	—	高156cm幅 84cm厚30cm	
宮城 029	宮城県 気仙沼市 本吉町二十一浜	海嘯溺死者精霊 之塔	【漢文】	—	明治津波	慰霊型						明治30日 5.5	二十一浜契 約中	団体	—					—	—	—	高133cm幅 78cm厚30cm	
宮城 030	宮城県 南三陸町 歌津	大震嘯記念碑	地震があったら津波の用心、津波と聞いたら早く高地へ	【津波襲来時刻、被害状況の記載】	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	—	—	—					—	—	—	高175cm幅 81cm厚37cm	歌津港
宮城 031	宮城県 南三陸町 歌津字田の浦	大震嘯記念碑	地震があったら津波の用心、津波と聞いたら早く高地へ	【津波襲来時刻、被害状況の記載】	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	—	—	—					—	—	—	高173cm幅 92cm厚32cm	
宮城 032	宮城県 南三陸町 歌津字石浜	昭和八年三月三 日大震嘯災記念 碑	地震があったらつなみ用心、つなみときいた羅すぐりげ よ	【津波襲来時刻、被害状況の記載】	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	—	—	—					—	—	—	—	
宮城 033	宮城県 南三陸町 歌津字名足	昭和八年三月三 日大震嘯災記念 碑	地震があったらつなみ用心、つなみときいた羅すぐりげ よ	【津波襲来時刻、被害状況の記載】	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	—	—	—					—	—	—	—	
宮城 034	宮城県 南三陸町 歌津字中山	海嘯記念之碑	【漢文】	—	明治津波	未確定						明治 33.11	発起人一同 連名	個人	—					—	—	—	高231cm幅 97cm厚21cm	五十鈴神社
宮城 035	宮城県 南三陸町 歌津字伊里前	大震嘯記念碑	地震があったら津波の用心、津波と聞いたら早く高地へ	【津波襲来時刻、被害状況の記載】	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	—	—	—					—	—	—	高152cm幅 90cm厚37cm	タイコ橋際
宮城 036	宮城県 南三陸町 志津川字細浦	大震嘯記念碑	地震があったら津波の用心	—	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	志津川町	市町村	—					—	—	—	高207cm幅 90cm厚19cm	
宮城 037	宮城県 南三陸町 志津川字清水浜	昭和八年三月三 日大震嘯災記念 碑	地震があったら津波の用心	—	昭和津波	教訓型		○				—	志津川町	市町村	—					—	—	—	—	久須美神社入 口
宮城 038	宮城県 南三陸町 志津川字十日町	海嘯遭難死亡各 霊供養碑	—	—	明治津波	慰霊型						明治 29.9.19	宮城、岩手 大師中	講中	—					—	—	—	高163cm幅 61cm厚19cm	海円寺
宮城 039	宮城県 南三陸町 志津川字汐見町	津浪災害記念碑	異常な引潮津浪の用心	—	チリ津波	教訓型		○				昭和 36.5.24	志津川町	市町村	松原公園				○	線内	線内	5m	高150cm幅 170cm	東日本大震災 の津波で転倒

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建 立 年 月 日	施 主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考		
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波
宮城 040 <b>カルテ</b>	宮城県 南三陸町 志津川字汐見町 <b>対象マップ</b>	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型		○				—	志津川町	市町村	松原公園			○		線内	線内	5m	高180cm幅 75cm厚45cm	
宮城 041 <b>カルテ</b>	宮城県 南三陸町 志津川字汐見町 <b>対象マップ</b>	志津川町の皆様へ	30年前、チリ国南部海岸地帯を襲い、貴町にも津浪の大きな被害をもたらした悲しむべき災害を記念されることに、チリ国民は深い共感を覚えます。この記念碑建立は、両国民の友好と相互理解をより深め、そして、将来にわたり、両国間の絆を一層強めていく証となるでしょう。チリ国民は、この長い歴史を持ち、友愛に満ちた両国の関係に、深い愛着の念を抱くものである。	—	チリ津波	祈念型					平成 2.5.24	駐日チリ大使	その他	松原公園			○		線内	線内	5m	—		
宮城 042 <b>カルテ</b>	宮城県 南三陸町 志津川字汐見町 <b>対象マップ</b>	志津川町チリ地震津波災害30周年記念碑	チリ地震津波の災害30周年にあたり、災害の防止と豊かな郷土づくりへの誓いを新たにするとともに、同じ被災国であるチリ共和国との友好の碑としてこの碑を建てる。志津川町における津波の波高5.5メートルの位置から、チリ共和国の国鳥コンドルがはるか祖国をのぞむ。アンデス山脈の花崗岩でつくられた台座には、チリ共和国から志津川町民への友好のメッセージが刻まれている。	—	チリ津波	祈念型					平成 2.5.24	志津川町	市町村	松原公園			○		線内	線内	5m	高93cm幅 119cm厚30cm	東日本大震災の津波で転倒	
宮城 043	宮城県 南三陸町 戸倉字波伝谷	昭和八年三月三日大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余り万円を羅漢町村へ分配した残額をもって建てたものです。	昭和津波	教訓型		○			—	戸倉村	市町村	—					—	—	—	—	—	国道398号脇
宮城 044	宮城県 南三陸町 戸倉字長清水	津浪境	—	—	昭和津波	教訓型					—	—	—	—					—	—	—	高40cm幅 16cm厚15cm		
宮城 045	宮城県 南三陸町 戸倉字長清水	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型		○			—	戸倉村	市町村	—					—	—	—	高204cm幅 93cm厚17cm		
宮城 046	宮城県 石巻市 北上町十三浜	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型	○	○			昭和9.3.3	十三浜村	市町村	—					—	—	—	高228cm幅 98cm厚12cm		
宮城 047	宮城県 石巻市 北上町十三浜	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型	○	○			昭和9.3.3	十三浜村	市町村	—					—	—	—	—	—	
宮城 048	宮城県 石巻市 雄勝町	海嘯遭難亡霊供養碑	【剥落して読めず】	—	明治津波	慰霊型					—	宮城、岩手 大師中	講中	—					—	—	—	高138cm幅 72cm厚5cm	杉原氏宅	
宮城 049 <b>カルテ</b>	宮城県 石巻市 雄勝町雄勝 <b>対象マップ</b>	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型	○	○			—	十五浜村	市町村	県道238号脇	○				線外	線内	8m	—	雄勝支所前	
宮城 050	宮城県 石巻市 雄勝町	チリ地震津波記念	【警報装置(櫓と半鐘)】	—	チリ津波	教訓型					昭和36	石巻精機製作所	団体	—					—	—	—	高240cm幅 240cm厚		
宮城 051	宮城県 石巻市 雄勝町名振	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型		○			昭和36	十五浜村	市町村	—					—	—	—	高214cm幅 98cm厚13cm		
宮城 052	宮城県 石巻市 雄勝町船越	チリ地震津波記念	【警報装置(櫓と半鐘)】	—	チリ津波	教訓型					—	—	—	—					—	—	—	高246cm幅 246cm		
宮城 053	宮城県 石巻市 雄勝町船越	昭和八年三月三日	—	—	昭和津波	教訓型					—	—	—	—					—	—	—	高44cm幅 14cm厚12cm		
宮城 054	宮城県 石巻市 雄勝町船越	地震があったら津浪の用心	—	—	昭和津波	教訓型		○			—	—	—	—					—	—	—	高62cm幅 14cm厚13cm		
宮城 055	宮城県 石巻市 雄勝町船越	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型		○			—	十五浜村	市町村	—					—	—	—	高206cm幅 92cm		
宮城 056	宮城県 石巻市 雄勝町船越字荒	昭和八年三月三日大震嘯災記念	大地震後に津浪が来る、地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型		○			—	—	—	—					—	—	—	—		
宮城 057	宮城県 石巻市 雄勝町船越字荒	地震があったら津浪の用心	—	—	昭和津波	教訓型		○			—	—	—	—					—	—	—	—		
宮城 058	宮城県 石巻市 雄勝町船越字荒	昭和八年三月三日大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心	—	昭和津波	教訓型		○			—	十五浜村	市町村	—					—	—	—	高188cm幅 82cm厚15cm		
宮城 059	宮城県 石巻市 雄勝町上雄勝	雄勝士地区画整理事業完工記念	復興と災害防止のために	—	チリ津波	祈念型					平成11.3	雄勝町	市町村	—					—	—	—	高145cm幅 211cm厚19cm		
宮城 060	宮城県 女川町 御前	昭和八年三月三日大震嘯災記念	大地震の後には津浪が来る、地震があったら津浪の用心	畏くも天皇・皇后両陛下には災害の甚大なるを聞召され、特に罹災者に対して救恤金を御下賜あらせらる	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高173cm幅 77cm厚12cm		
宮城 061	宮城県 女川町 尾浦字尾浦	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高183cm幅 80cm厚14cm	羽黒神社	
宮城 062	宮城県 女川町 石浜字崎山	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高170cm幅 81cm厚16cm	崎山展望公園	
宮城 063	宮城県 女川町 女川浜	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高187cm幅 81cm厚16cm	町役場	
宮城 064	宮城県 女川町	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高182cm幅 80cm厚15cm	熊野神社	
宮城 065	宮城県 女川町 高白	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高171cm幅 75cm厚13cm		
宮城 066	宮城県 女川町	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高171cm幅 77cm厚16cm	野々浜漁港入口	
宮城 067	宮城県 女川町	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高190cm幅 77cm厚16cm	出島厳島神社	
宮城 068	宮城県 女川町	昭和八年三月三日大震嘯災記念	【宮城060と同文】	【宮城060と同文】	昭和津波	教訓型		○			昭和9.3.3	女川町	市町村	—					—	—	—	高178cm幅 76cm厚15cm	出島簡易郵便局	
宮城 069	宮城県 石巻市 鮫浦	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心、津波が来たらこれより高い所へ、危険区域内に住居をするな	—	昭和津波	教訓型	○	○	○	○	—	大原村	市町村	—					—	—	—	高183cm幅 93cm厚15cm		
宮城 070	宮城県 石巻市 大谷川浜	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心、津波が来たらこれより高い所へ、危険区域内に住居をするな	—	昭和津波	教訓型	○	○	○	○	—	大原村	市町村	—					—	—	—	高182cm幅 89cm厚16cm		
宮城 071	宮城県 石巻市 谷川浜	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心、津波が来たらこれより高い所へ、危険区域内に住居をするな	—	昭和津波	教訓型	○	○	○	○	—	大原村	市町村	—					—	—	—	高184cm幅 93cm厚16cm		
宮城 072	宮城県 石巻市 新山浜	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心、それや来た逃げよう、この場所へ	—	昭和津波	教訓型	○	○			昭和9.3.3	新山実業団中	団体	—					—	—	—	高175cm幅 77cm厚13cm		
宮城 073	宮城県 石巻市 金華山	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心、それや来た逃げよう五本松	この記念碑は朝日新聞社へ寄託の義金二十余り万円を羅漢町村へ分配した残額をもって建てたものです。	昭和津波	教訓型		○	○		—	—	—	—					—	—	—	高175cm幅 84cm厚19cm		
宮城 074	宮城県 石巻市 鮎川浜	大震嘯災記念	地震があったら津浪の用心、それや来た逃げよう、この場所へ	—	昭和津波	教訓型		○	○		—	—	—	—					—	—	—	高163cm幅 76cm厚22cm		

番号	所在地	碑銘	碑文		対象津波	類型	碑文が伝えるもの					建立年月日	施主	分類	建立場所	浸水線との関係				標高	大きさ	備考		
			表	裏			記録	予兆	避難	居住	美談					沿道	社寺	公益	他				対象津波	3.11津波
宮城 075	宮城県 石巻市 十八成浜	大震嘯記念	地震があったら津波の用心、それや来た逃げよう、この場所へ	—	昭和津波	教訓型	○	○				—	—	—	—					—	—	—	高157cm幅 84cm厚21cm	
宮城 076	宮城県 石巻市 小淵	大震嘯記念	地震があったら津波の用心、津波が来たらこれより高い所へ、危険区域内に住居をする	—	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	大原村	市町村	—					—	—	—	—	
宮城 077	宮城県 石巻市 小網倉	津浪記念碑	昭和八、三、三の津波を忘れるな、強い地震に油断をするな、地震後海がドーンとなったら津浪と思え、津浪と知ったら高いところへ逃げよ、永久子孫に伝えんがため	—	昭和津波	教訓型	○	○				—	大壁熊次他六名	個人	—					—	—	—	高137cm幅 75cm厚12cm	
宮城 078	宮城県 石巻市 小網倉	大震嘯記念	地震があったら津波の用心、津波が来たらこれより高い所へ、危険区域内に住居をするな	—	昭和津波	教訓型	○	○	○			—	大原村	市町村	—					—	—	—	高177cm幅 93cm厚14cm	
宮城 079	宮城県 石巻市 桃の浦	大震嘯記念	地震があったら、津波の用心、忘るな火の元の注意、先に老幼續いて避難第一	津波襲来の様子、被害は床上浸水、天皇よりの救恤金	昭和津波	教訓型	○	○				—	—	—	—					—	—	—	高225cm幅 89cm厚16cm	
宮城 080	宮城県 石巻市 荻浜	大震嘯記念	【宮城079と同文】	【宮城079と同文】	昭和津波	教訓型	○	○				—	—	—	—					—	—	—	高212cm幅 93cm厚15cm	
宮城 081	宮城県 石巻市 小積浜	大震嘯記念	【宮城079と同文】	【宮城079と同文】	昭和津波	教訓型	○	○				—	—	—	—					—	—	—	高220cm幅 90cm厚15cm	
宮城 082	宮城県 名取市 閑上	震嘯記念	「地震があったら津波の用心」昭和八年三月三日午前二時三十分、突如強震あり。鎮静後四十分にして異常の音響とともに怒涛澎湃し来たり。水高十尺、名取川を遡上して、西は猿猴園に至り、南は貞山堀広浦江一帯に氾濫せり。浸水家屋20余戸、名取川町裏沿岸にありし30トン級の発動機漁船数艘は柳原園の畑地に押上げられ、小艇の破砕せられたるもの少なからざりしも、幸い人畜には死傷なかりき。県内桃生、牡鹿、本吉の各郡及び岩手、青森両県地方の被害甚大なりしに比し軽少なりしは震源地の遠く金華山の東北東約150里の沖合にありて、濤勢の牡鹿半島に遮断せられその余波の襲来に過ぎざりしと、河口の洲丘及び築堤のこれを阻止したるとによるなり。震災の報一度天聴に達するや、畏くも天皇皇后両陛下より御救恤として御内帑金を下賜せらる、聖御の宏大なることまことに恐懼感激に禁へざるところなり。想うに天災地変は人力の予知し難きものなるをもつて、緊急護岸の万策を講ずべきは勿論平素用心を怠らず、変に応ずるの覚悟なかるべからず。ここに刻してもつて記念とす。	—	昭和津波	教訓型	○	○				昭和8.11.3	名取町	市町村	日和山富士主姫神社脇	○				不明	線内	2m	高229cm幅 95cm厚18cm	
カルテ	対象マップ																							
宮城 083	宮城県 山元町 中浜	大震災記念	地震があったら津波の用心	【明治と昭和の津波の比較】	明治・昭和津波	教訓型	○	○				—	山元町	市町村	—					—	—	—	高160cm幅 73cm厚100cm	
宮城 084	宮城県 山元町 磯	大震災記念	地震があったら津波の用心	【明治と昭和の津波の比較】	明治・昭和津波	教訓型	○	○				—	山元町	市町村	—					—	—	—	高160cm幅 73cm厚101cm	